

【別紙4 医事会計システム機能一覧】

項番	大分類	中分類	小分類	要求仕様
1-1-1-1	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	高速操作性を重視したマウスレス操作を基本とすること。
1-1-1-2	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	一般的な処理ではキーボードだけで全ての操作を行うことができること。
1-1-1-3	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	Tabキーに加え、矢印キー（←、→、↑、↓）でも入力領域または選択領域の移動ができること。
1-1-1-4	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	一般的な処理では極力ウィンドウを開かずにメイン画面だけで操作できること。またウィンドウを表示する場合は最大3階層までとすること。
1-1-1-5	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	業務切換え専用のウィンドウをワンタッチで表示でき、簡単に業務の遷移が可能なこと。
1-1-1-6	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	カードリーダーを使用し診察券から患者IDを読み込むことが可能なこと。
1-1-1-7	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	一端末で同時に起動する異業務の数には制限がないこと。
1-1-1-8	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	画面処理およびプログラム等の処理分散化（サーバ/クライアント）により、安定した快適なレスポンスを保証できること。
1-1-1-9	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	業務を開始する際に、自動でクライアント側のマスタ等資源を最新化できること。
1-1-1-10	医事業務	各業務共通	操作性および画面展開	24時間稼働可能なシステムであること。
1-1-2-1	医事業務	各業務共通	利用者権限	利用者毎のパスワード設定および有効期限の設定ができること。また利用者毎に使用可能な業務の設定が可能なこと。
1-1-2-2	医事業務	各業務共通	利用者権限	有効期限が切れたパスワードでログインしようとした場合は、その場でパスワードの変更ができる機能を有すること。
1-1-2-3	医事業務	各業務共通	利用者権限	利用者毎に設定したパスワードが有効期限となる前に、再設定を促すメッセージが表示できること。
1-1-2-4	医事業務	各業務共通	利用者権限	利用者毎のパスワード設定には、文字・数字・記号の混在を条件とするような複雑性を要求できること。
1-1-2-5	医事業務	各業務共通	利用者権限	パスワードの入力限度回数設定で入力ミスの原因とするログイン不可が可能なこと。例）3回間違えると制限がかかりログイン不可とする。
1-1-2-6	医事業務	各業務共通	利用者権限	オペレータ単位またはグループ単位に、窓口業務でのデータへのアクセス権限を選択できること。
1-1-3-1	医事業務	各業務共通	患者排他制御	複数の利用者が同時に同じ患者情報を更新しないよう患者単位の排他制御機能を有すること。また使用中の「端末名」、「オペレータ名」、「使用場所」が画面に表示されること。なお、各端末毎の使用状況（オペレータ、患者）を一覧で確認できる機能を有し排他解除を行うこともできること。
1-1-4-1	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	全ての窓口業務から患者ID検索処理を呼び出すことができること。
1-1-4-2	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	カナ氏名の指定により、該当患者のID番号、氏名、性別、生年月日等を表示できること。また、保険記号番号が同じ患者を把握する機能があり、他の患者番号で登録されている被保険者や扶養者がわかること。検索条件の設定は1画面で可能であること。
1-1-4-3	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	また、上記項番の検索に加えて次の条件での検索も可能であること。・漢字氏名（姓名）または漢字名前（名）・第2氏名（姓名）または第2名前（名）・カナ名前・電話番号・生年月日（和暦・西暦どちらも可能）
1-1-4-4	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	ID検索画面を開いた際に前回検索条件を保持し、繰り返しのID検索が容易に行えること。
1-1-4-5	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	カナ氏名、漢字氏名、カナ名前等のあいまい検索を行うことが可能なこと。また、あいまい検索を有効にするか否かの設定が可能であること。あいまい検索とは例えば「ヤマサキ」と検索すると「ヤマザキ」も検索対象とすることを指す。
1-1-4-6	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	前回使用患者についてはワンタッチでのID呼び出しが可能であること。
1-1-4-7	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	ID番号検索結果に識別可能な表示を行うことで、注意が必要な患者の判断ができるような機能を有すること。
1-1-4-8	医事業務	各業務共通	患者ID検索処理	検索結果にはID、カナ氏名、日本語氏名、性別、生年月日、最終受診科、最終来院日、入院中診療科、部屋番号、住所が表示できること。
1-1-5-1	医事業務	各業務共通	特定保険の法別番号の設定について	労災、公害、自賠、老人助成（地方自治体）、治験に関して法別番号を設定できること。
1-1-6-1	医事業務	各業務共通	各種ガイド表示	科コードやドクターコード等のガイド表示ができること。
1-1-6-2	医事業務	各業務共通	各種ガイド表示	病棟や部屋コード一覧を表示できること。
1-1-6-3	医事業務	各業務共通	各種ガイド表示	特定入院料区分一覧が表示できること。
1-1-6-4	医事業務	各業務共通	各種ガイド表示	参照または入力中の患者に登録している保険パターンが一覧で表示できること。
1-1-6-5	医事業務	各業務共通	各種ガイド表示	全ての窓口業務から、患者毎の来院カレンダー、来院歴、入退院歴、DPC情報をワンタッチで一画面に表示できること。
1-1-7-1	医事業務	各業務共通	HELP表示	各業務の入力項目について、区分選択などのガイド表示を行えること。
1-1-8-1	医事業務	各業務共通	患者基本情報のガイド表示	以下の患者情報が全ての窓口業務にてガイド表示できること。患者ID、カナ氏名、漢字氏名、性別、生年月日、年齢（年月まで）、住所、電話番号、保有保険、最終来院日、入院日・退院日、未収金有無（外来および入院別）、患者コメント、動作環境コメント（運用系、テスト系など）
1-1-8-2	医事業務	各業務共通	患者基本情報のガイド表示	同姓同名患者のチェックを行い、該当する患者が存在した場合は、各窓口業務欄の日本語氏名欄横に「同姓同名有」の表示が可能なこと。
1-1-9-1	医事業務	各業務共通	日付入力機能	日付は全て和暦で入力が可能なこと。

1-1-9-2	医事業務	各業務共通	日付入力機能	日付の省略入力が可能であること。(例)当日日付が平成26年8月4日の場合①入力値「1」の場合 : 「260801」が自動でセットされること②入力値「0710」の場合 : 「260710」が自動でセットされること
1-1-10-1	医事業務	各業務共通	診療科について	診療科を最大98科まで管理することが可能なこと。
1-1-11-1	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	患者連絡用のコメントとタイトルが登録できる機能を有すること。
1-1-11-2	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	タイトルは全角30文字まで、コメントは全角100文字まで登録できること。
1-1-11-3	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	患者連絡用のコメントは一患者につき40件まで登録が可能なこと。
1-1-11-4	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	各コメント毎に重要度が設定でき、重要度でサブウィンドウの背景色を変える等して、容易に重要度の識別ができること。
1-1-11-5	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	各コメントの有効期限を設定できること。
1-1-11-6	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	コメント毎にポップアップ設定が可能で、設定するとポップアップ対象の業務画面を展開し、コメントを自動展開できること。
1-1-11-7	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	各コメントの登録日、登録者、更新日、更新者、有効期間が参照できること。
1-1-11-8	医事業務	各業務共通	コメント管理機能	コメントはポップアップ表示の他に任意でも展開できること。
1-1-12-1	医事業務	各業務共通	患者参照機能	特定のオペレータによる患者データの unnecessary 更新を防ぐために、患者データを更新せずに参照のみ可能なモードの対応ができること。
1-1-13-1	医事業務	各業務共通	認証	電子カルテもしくは認証システムからのシングルサインオンができること。
1-2-1-1	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者の個人情報・保険情報の登録および変更ができること。
1-2-1-2	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険種別は、主保険32個、従保険32個、自費の登録ができること。
1-2-1-3	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	通常氏名のほかに第2氏名の登録ができること。
1-2-1-4	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	新患者登録を行った際に、既に登録済の患者でカナ氏名、性別、生年月日が一致する患者がある場合は、同一患者の可能性のある患者の情報を一覧表示できること。
1-2-1-5	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	二重登録疑い画面から患者登録の画面へID番号をセットができること。
1-2-1-6	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	カナ氏名の入力欄には、英数字の入力も可能であること。
1-2-1-7	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	カナ氏名の入力欄には、半角20文字まで登録が可能であること。
1-2-1-8	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	漢字氏名の入力欄には、全角20文字まで登録が可能であること。
1-2-1-9	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	漢字氏名が変更された場合は変更したことが認識でき、入力者への確認を促す機能を有すること。
1-2-1-10	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	氏名の入力は、氏名選択画面より氏名辞書による日本語氏名の選択入力、またはワープロ入力ができること。
1-2-1-11	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者の受診情報の表示ができること。
1-2-1-12	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者の住所、電話番号、コメント等の入力ができること。住所については、カナ検索が可能で町名までコード管理可能な住所マスタを有しており、詳細住所はワープロ入力が可能であること。
1-2-1-13	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	住所のカナ検索または日本語検索を行う際には、検索対象の都道府県を限定し、より迅速に目的の住所を検索可能であること。検索対象の都道府県を指定した都道府県名も表示できること。
1-2-1-14	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	郵便番号からの住所検索入力、またその逆で住所からの郵便番号検索入力が可能であること。
1-2-1-15	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険の確認日管理(確認日の年月日保持)ができること。
1-2-1-16	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険毎に限定科を6個まで指定できること。
1-2-1-17	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険毎に内科・歯科による限定を設定することが可能なこと。
1-2-1-18	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	排他区分を設定することで、限定科に設定された科での使用を抑止することが可能なこと。
1-2-1-19	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険パターンに限定科情報が設定されている場合、容易に判別することが可能なこと。
1-2-1-20	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	社保国保本人、後期高齢者制度等、各種保険の年齢チェックができること。
1-2-1-21	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	労災患者の情報を登録・変更できること。
1-2-1-22	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	労災患者の情報は、事業所番号・労働者保険番号・住所・療養情報(傷病年月日療養開始日・療養終了日・新規継続区分・転帰区分)・傷病の経過(4行)を登録・変更できること。
1-2-1-23	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	カルテ情報の登録・変更ができること。また、カルテ1号紙の発行ができ、発行区分(発行する、しない)の初期値設定ができること。
1-2-1-24	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	3科まで同時にカルテを発行できること。
1-2-1-25	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者番号は、1患者1番号制に対応できること。
1-2-1-26	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者番号については、自動的に付番できる機能を有すること。自動付番機能については、チェックディジット方式等ある程度の汎用性を持たせること。また、患者番号の手入力にも対応できること。

1-2-1-27	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者番号は、数字8桁以上とすること。
1-2-1-28	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	医事システムの患者登録業務にて登録・変更した患者基本情報は、更新すると連携している他システム側が対応している場合、即時反映が可能であること。
1-2-1-29	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	IDカード発行機と連携が可能で、患者登録業務からIDカードの発行指示が行えること。
1-2-1-30	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	IDカードの出力枚数を画面にて1枚～9枚まで指定が可能なこと。
1-2-1-31	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	IDカード発行機が複数台（最大9台まで）存在する場合に出力場所を選択することが可能なこと。端末毎に発行場所の初期値を設定することが可能なこと。
1-2-1-32	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者の紹介情報が登録でき、診療会計時に「紹介状あり」コメントの自動発生ができること。また、紹介情報がない場合は初診料算定時に保険外併用療養費（選定療養）の自動算定が可能であること。
1-2-1-33	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	紹介状を持参していない患者であっても、救急来院の場合は保険外併用療養費（選定療養）を誤って徴収しない機能を有すること。
1-2-1-34	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険や公費の種類により、保険外併用療養費（選定療養）の算定の可否を自動判定できること。
1-2-1-35	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	紹介状を持参しておらず、救急来院でもない患者であっても、保険外併用療養費（選定療養）の算定可否を登録でき、誤って徴収しない機能を有すること。
1-2-1-36	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	食事負担区分の2世代管理ができること。
1-2-1-37	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	高額委任払いや高額療養費現物給付化制度に対応できること。
1-2-1-38	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険登録では、5者併用に対応できること。また、高齢受給者、3歳未満、医療費助成制度（高齢者、乳幼児、障害者等）への対応が可能なこと。
1-2-1-39	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	後期高齢者、高齢受給者の負担割合や低所得者区分が保険パターンの表示を区別して確認できること。
1-2-1-40	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者コメントは最大漢字40文字まで登録・表示できること。
1-2-1-41	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険パターンを一覧で表示できること。有効期限切れの場合、背景の色分けもしくはメッセージ等で分かりやすく確認できること。
1-2-1-42	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	各保険毎に保険確認日の設定ができること。
1-2-1-43	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	職業コードが容易に検索・登録が可能なこと。
1-2-1-44	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者の携帯電話番号を登録することが可能なこと。
1-2-1-45	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者のメールアドレスを登録することが可能なこと。
1-2-1-46	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	世帯主コード選択シートによってマスタに登録している世帯主コードが容易に検索・登録が可能なこと。
1-2-1-47	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	現住所とは別に住所・電話番号等の連絡先情報（会社情報等を含む）を3つまで登録することが可能なこと。
1-2-1-48	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険情報の全ての項目の更新・変更履歴を最大200件まで管理し、一覧表示することが可能なこと。
1-2-1-49	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	会計条件として、「優待」、「食事負担区分」、「確定区分」、「障害者区分」、「手術予定日」、「老人慢性疾患外総診算定科」、「再診料特別患者」、「慢性維持透析算定科」、「慢性維持透析算定開始日」、「要介護開始日」が設定可能なこと。
1-2-1-50	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	高齢者および高額委任、高額療養費現物給付で1年を遡って限度額越え4回以上の場合は、自動的に多数該当扱いとし、限度額を引き下げることが可能なこと。
1-2-1-51	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者登録および変更画面において、患者基本情報の登録・変更が画面を切り替えることなくできること。
1-2-1-52	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者登録および変更画面において、登録されている受診科歴が容易に表示できること。
1-2-1-53	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	1画面上で主保険・従保険・保険パターン・受診歴情報の確認変更ができること。また、画面には各情報の必要最小限の項目のみを常時表示し、必要に応じてワンタッチで詳細項目を同一画面上に展開できること。
1-2-1-54	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	カルテ1号紙と外来総括票は、端末毎に出力先（プリンタ）の指定ができること。
1-2-1-55	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者基本情報が更新・変更された場合、履歴を管理し参照することが可能なこと。
1-2-1-56	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	生年月日は、入力の都度、和暦・西暦を切り替えることが可能なこと。また、患者ID検索時においても、生年月日を和暦・西暦で指定して検索することが可能なこと。
1-2-1-57	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	入院歴のある患者について、最新の入院日・退院日・入院診療科を表示できること。
1-2-1-58	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	確認が必要な保険が複数ある場合、保険確認画面より複数保険をまとめて確認できること。
1-2-1-59	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険入力を行った際に、発生するチェックデジットエラーをワーニングもしくはエラーでアラート表示できること。
1-2-1-60	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	主保険登録の際、保険者番号入力後に、候補となる記号番号の一覧が表示され、そこからの選択入力が可能であること。
1-2-1-61	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	治験患者の情報を登録・変更・できること。
1-2-1-62	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	新規登録の際は家族等他の患者情報（住所、連絡先等）の項目を選択し複写できること。
1-2-1-63	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	カルテ1号紙、診察券（IDカード）を管理でき、一覧表示できること。
1-2-1-64	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	未収金の有無が確認できること。

1-2-1-65	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険登録時に、保険番号一覧のガイド表示を行い、選択して入力する機能ができること。
1-2-1-66	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	高額療養費現物給付化制度の保険の場合、入力された限度額のチェックができること。
1-2-1-67	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	前期高齢者が処理日時時点で70歳を超えていた場合、負担率の表示を所得区分に応じて表示できること。
1-2-1-68	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	保険登録時、保険開始日が省略された場合、空白もしくは処理日を自動でセットできること。
1-2-1-69	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	入力誤りを防ぐ為、主保険の保険者番号と記号番号、あるいは従保険の負担者番号、受給者番号が同一で、かつ有効期間が重複するものが複数入力された場合にはワーニングまたはエラーメッセージを表示できること。
1-2-1-70	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	治験保険登録時に治験情報が未確定でも登録が可能であること。
1-2-1-71	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	入力途中でキャンセルキーを押した場合、確認メッセージを表示しオペレーションミスを防止する機能が有ること。
1-2-1-72	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	「胎児（誕生予定日のみがわかる）等」の場合、生年月日が未来日でも入力ができること。
1-2-1-73	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	患者登録業務において優待区分とその名称をメイン画面に表示できること。
1-2-1-74	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	オペレーションミス防止の為、患者受付登録業務および診療会計業務において、キャンセルキーを押下した際、入力データの取消確認メッセージを表示することが可能であること。
1-2-1-75	医事業務	患者受付業務	患者登録変更処理	受診歴情報に登録済の初回日を患者登録業務にて削除した場合に、オペレータが意図した削除なのか確認を促すワーニングメッセージを表示することができること。
1-2-2-1	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	再来登録を行い、外来総括票（病名通知、前回処方、前回指導料算定情報等）が出力できること。
1-2-2-2	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	外来総括票の出力先プリンタは、端末毎に指定できること。
1-2-2-3	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	再来患者受付処理と同時に患者基本情報および保険情報の確認変更ができること。
1-2-2-4	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	保険の確認日管理ができること。
1-2-2-5	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	当月確認していない保険については、確認日の背景色を変えるなどして保険確認を促す機能を有すること。
1-2-2-6	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	再来登録中に患者の基本情報保険情報の確認変更ができること。
1-2-2-7	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	受診歴情報は、診療会計入力後に自動で更新されること。
1-2-2-8	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	再来受付時に、外来入院別に未収金の有無が確認できること。
1-2-2-9	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	再来受付を別システムにて行う際には、受付情報の連携を行い、医事システム上の受付情報が自動で更新されること。
1-2-2-10	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	1日の受付回数を6回まで行えること。
1-2-2-11	医事業務	患者受付業務	再来登録処理	保険確認日および保険情報変更の履歴を一覧表示することが可能なこと。
1-2-3-1	医事業務	患者受付業務	受付状況照会処理	患者毎に受付情報の表示・変更が可能なこと。
1-2-3-2	医事業務	患者受付業務	受付状況照会処理	外来総括票の再出力が可能なこと。
1-2-3-3	医事業務	患者受付業務	受付状況照会処理	患者の受付時間・会計済時間がコンピュータ内に自動的に記録され、画面表示できること。
1-3-1-1	医事業務	入退院業務	入院登録	入院日、部屋No.、室料差額等を入力し、入院料、入院保険、食事情報等のカレンダーをセットできること。
1-3-1-2	医事業務	入退院業務	入院登録	入院時の保証金額・受理日の登録が可能なこと。
1-3-1-3	医事業務	入退院業務	入院登録	医事システム稼動時間外に入院した患者をスムーズに登録することができるように、入院登録と同時に転科転室を入力することができること。
1-3-1-4	医事業務	入退院業務	入院登録	未来の入院日での入力ができること。
1-3-1-5	医事業務	入退院業務	入院登録	入退院履歴は500個、転科、転室情報と合わせて999個の登録が可能なこと。
1-3-1-6	医事業務	入退院業務	入院登録	長期入院患者180日超えの日数計算時に、DPC対象期間・ICU入院期間を除外して自動計算することが可能なこと。
1-3-1-7	医事業務	入退院業務	入院登録	患者の状態コメントとして、入院中か否か判別可能な表示ができること。
1-3-1-8	医事業務	入退院業務	入院登録	入退院履歴を番号で管理できること。かつ、入院算定日付の引継ぎが履歴番号を指定して可能なこと。
1-3-1-9	医事業務	入退院業務	入院登録	食事一部負担金の通減・減免措置を登録できること。
1-3-1-10	医事業務	入退院業務	入院登録	差額室料（課税/非課税）や一般病棟/療養病棟/結核病棟/精神病棟/特定機能病院/専門病院/障害者施設等/老人病棟の各種入院基本料 および 各種看護加算・療養環境加算等々、入院基本料加算などの情報を病棟または病室マスタから自動設定できること。また、開始年月日を元に32世代まで管理できること。
1-3-1-11	医事業務	入退院業務	入院登録	同開設者/特別な関係にある他病院からの転院引き継ぎ情報を入退院確認画面から登録できること。また介護病棟から転棟にも対応できること。
1-3-1-12	医事業務	入退院業務	入院登録	特定入院(入院90日超)のカウントおよびカウント除外(一般病棟/一般病棟以外)に対応できること。
1-3-1-13	医事業務	入退院業務	入院登録	入院期間に応じた入院料算定(加減算)では、180日超え選定療養に対応できること。
1-3-1-14	医事業務	入退院業務	入院登録	180日超え選定療養の自費分を患者請求しない設定も可能なこと。
1-3-1-15	医事業務	入退院業務	入院登録	180日超え選定療養の自費金額を設定できること。
1-3-1-16	医事業務	入退院業務	入院登録	患者単位毎に室料差額の優待率を設定することができること。
1-3-1-17	医事業務	入退院業務	入院登録	救急患者として受け入れ、処置室、手術室等において死亡した患者の入院登録ができること。
1-3-2-1	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	既に登録済の入院情報の変更ができること。
1-3-2-2	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	2日以上連続した期間にわたる入院情報を修正する際には、複数日のカレンダーを選択し、一度に修正変更が可能であること。
1-3-2-3	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	転科転室情報を期間指定で登録し、同一日内の複数の転入転出も管理できること。また優先させる移動履歴の設定ができること。
1-3-2-4	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	入院患者の基本情報が常時画面の一部に表示できること。

1-3-2-5	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	ID入力画面に戻ることなく、表示月の切り替えをワンタッチで行えること。
1-3-2-6	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	部屋や病棟による算定条件が変わった場合、月単位で自動計算できること。
1-3-2-7	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	患者の算定情報（指導料算定日、調剤料算定日、検査判断料算定日など）が参照できること。
1-3-2-8	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	カレンダーを日本語表示にすることで区分の意味をわかりやすく表示すること。
1-3-2-9	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	入院カレンダーを99ヵ月分表示できること。
1-3-2-10	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	外泊をカレンダーで指定することにより外泊時の入院基本料を自動算定できること。また、選定療養費算定の計算も自動で行うこと。
1-3-2-11	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	薬剤管理指導の算定に関し、1ヶ月4回までのチェックが出来ること。また、1週間につき1回のチェックを行えること。
1-3-2-12	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	薬剤管理指導の算定をカレンダーで指定できること。
1-3-2-13	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	手術後医学管理の算定を、簡易な操作で指示できること。検査等の包括を自動で行うこと。
1-3-2-14	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	入院算定歴データの登録・修正時には、それぞれの処理に応じた入力項目のウィンドウが表示できること。
1-3-2-15	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	定期請求を月に2回以上行う場合、患者毎に月中で定期請求処理をスキップできるような指定が可能なこと。
1-3-2-16	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	基本的検体検査実施料をオーダー・実施から医事会計に取り込みできること。
1-3-2-17	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	入院カレンダーを5日間区切りで罫線を入れ見やすく表示できること。
1-3-2-18	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	入院日数毎の起算日が判断できること。例) 7日以内・14日以内・1ヶ月以内
1-3-2-19	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	選定入院の対象となる初日が判断できること。
1-3-2-20	医事業務	入退院業務	入院確認変更処理	精神病棟入院中の患者に対して外泊が指示（オーダー）された場合、入院基本料の算定割合を自動で変更（15%→30%）できる機能を有すること。
1-3-3-1	医事業務	入退院業務	入院取消処理	入院の取消ができること。
1-3-3-2	医事業務	入退院業務	入院取消処理	取消処理終了時に誤操作防止の為に確認メッセージを表示すること。
1-3-4-1	医事業務	入退院業務	退院処理	退院処理ができ、退院請求書が発行できること。
1-3-4-2	医事業務	入退院業務	退院処理	移行データによる本稼動以前の計算書作成を抑止できること。
1-3-4-3	医事業務	入退院業務	退院処理	前回作成した退院請求書に変更がある場合、その差分請求書を今回の退院処理時に出力することが可能なこと。
1-3-4-4	医事業務	入退院業務	退院処理	電子カルテシステムから、退院日と退院理由の受信が可能であること。
1-3-4-5	医事業務	入退院業務	退院処理	退院オーダ受信後は、患者が医事システムにおいて入院中の状態であっても外来での会計が可能であること。また、外来での会計を行うことを可能にするか否かが選択できること。
1-3-4-6	医事業務	入退院業務	退院処理	保険別に退院請求書が発行できること。
1-3-4-7	医事業務	入退院業務	退院処理	退院会計での請求書イメージ表示については、料金明細内訳項目(欄)を最低でも50項目を設定可能なこと。
1-3-4-8	医事業務	入退院業務	退院処理	出産一時金の直接支払い制度に準じて、出産に関わる費用を支給限度額まで差し引いて計算できること。
1-3-4-9	医事業務	入退院業務	退院処理	退院処理を実施した際、未取込オーダーのチェックをができること。未取込オーダーが存在している場合は、ワーニング表示ができること。
1-3-5-1	医事業務	入退院業務	入院料問い合わせ	入院料金の問い合わせができること。また、お知らせ（概算書）が出力できること。その際、請求額の割引額も入力できること。
1-3-5-2	医事業務	入退院業務	入院料問い合わせ	DPC算定患者に対して、同一画面もしくはツール実行等により出来高算定時の試算ができること。
1-3-6-1	医事業務	入退院業務	退院取消	退院の取消ができること。
1-3-7-1	医事業務	入退院業務	退院準備処理	オーダーリング等から未取込データを取り込めること。
1-3-8-1	医事業務	入退院業務	計算書確認変更	請求金額の確認ができること。
1-3-8-2	医事業務	入退院業務	計算書確認変更	各部別の点数を1画面で15明細以上一度に確認できること。
1-3-9-1	医事業務	入退院業務	入院カルテ発行	入退院業務にて入院カルテを発行できること。
1-3-9-2	医事業務	入退院業務	入院カルテ発行	科毎または端末毎に異なるプリンタへ入院カルテを出力できること。また、マスタ設定することにより科毎または端末毎に異なる印刷形式の入院カルテを出力できること。
1-3-10-1	医事業務	入退院業務	退院証明書発行	入退院業務もしくは退院証明書発行画面より退院証明書を発行できること。
1-3-10-2	医事業務	入退院業務	退院証明書発行	科毎または端末毎に異なるプリンタへ退院証明書を出力できること。
1-3-11-1	医事業務	入退院業務	定期請求処理	定期請求書を科または病棟別に発行できること。
1-3-11-2	医事業務	入退院業務	定期請求処理	定期請求書に出力する科または病棟については定期請求処理実行日時点か請求終了日時点かの設定もしくは選択ができること。
1-3-11-3	医事業務	入退院業務	定期請求処理	特定入院料算定時は、包括処理を自動的に行えること。
1-3-11-4	医事業務	入退院業務	定期請求処理	退院患者で診療データの変更があった場合に、退院請求書の差分計算書も同時に出力することができること。
1-3-11-5	医事業務	入退院業務	定期請求処理	月複数回の定期請求にも対応できること。
1-3-11-6	医事業務	入退院業務	定期請求処理	保険別に定期請求書が計算できること。
1-3-12-1	医事業務	入退院業務	出産一時金	出産一時金制度に対応した明細書の出力が可能なこと。
1-3-13-1	医事業務	入退院業務	診療明細書	診療明細書の出力については、退院時の発行と、定期請求時での発行機能を有していること。
1-4-1-1	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来・入院患者の診療データが入力できること。
1-4-1-2	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	電子カルテシステムおよび関連システムからオーダ実施情報を取込み、点数料金計算が行えること。

1-4-1-3	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	オーダ実施情報を取り込む際には、受信した実施情報を自動で会計画面に展開するか、依頼・実施状況を確認した後に取り込み指示を行うかの選択が可能であること。
1-4-1-4	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	取り込んだオーダ実施情報内に、コード誤りや単位誤りがあった場合に注意を促すこと。
1-4-1-5	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来患者について、会計入力終了の情報を電子カルテシステムに送信し、電子カルテシステム上の患者受付状態を「会計済」に変更できること。
1-4-1-6	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	コード入力や数量・回数入力が全てテンキーで行えること。
1-4-1-7	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	患者番号入力後に、診療日が入院期間でかつ、内外区分が「外来」であれば、内外区分を「入院」へ切り替えるように促すメッセージボックスを表示すること。
1-4-1-8	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入力行の削除や挿入がワンタッチでできること。
1-4-1-9	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	行削除の際には、伝票毎、もしくは指定行以下全ての一括削除が可能であること。
1-4-1-10	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計処理画面内に算定情報・受診歴情報を表示し、会計入力を行いながら受診歴や算定歴の確認が可能であること。
1-4-1-11	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	算定情報と受診歴情報は、会計入力終了後に自動更新されること。
1-4-1-12	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	現在入力中の診療行為と同時に、入力済の内容を30行並べて表示できること。
1-4-1-13	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	オーダからの実施情報について1オーダにつき300明細以上取り込みできること。
1-4-1-14	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療行為の入力明細について、自動発生項目を含めて500明細以上展開できること。
1-4-1-15	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入力は数字コード・伝票コード・略称コードのどれでも入力可能なこと。また、セット入力・スケルトン入力により容易に複数コードをまとめて入力できること。
1-4-1-16	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	使用量や回数が1の場合、数量必須でないものについては使用量/回数入力を省略できること。
1-4-1-17	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	特定パターンの診療行為を入力する手間を省くため、過去の会計カード内容、または他の患者の会計カード内容が複写できること。
1-4-1-18	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	前回の行為内容を入力部へ展開でき、入力作業を大幅に簡略化できること。
1-4-1-19	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	複数の伝票番号で入力された検査項目をマスタ設定で1つの伝票にまとめることが可能なこと。
1-4-1-20	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	同一伝票コード内で検査項目のまとめ処理を、オペレータが意識することなくランダムな入力方法でも自動的に行えること。
1-4-1-21	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療行為の適用保険が選択できること。また、診療行為毎に保険の振り分けができること。
1-4-1-22	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計業務で保険の確認操作を行うことが可能なこと。
1-4-1-23	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	会計入力を開始した患者の保険が当月未確認だった場合、会計入力前に保険確認画面を表示する設定が可能で、保険一覧に保険証未確認を明示的に表示できること。
1-4-1-24	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	確認が必要な保険が複数ある場合、保険確認画面より複数保険をまとめて確認できること。
1-4-1-25	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療行為入力中に科の指定や適用保険の選択ができ、複数科・複数保険の入力を連続して入力することが可能であること。
1-4-1-26	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来患者で1科のみ受診の場合、または未会計の科が1科の場合は、科コードを自動的に設定できること。また、自動設定した科を強制的に変更できること。
1-4-1-27	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来患者で会計入力を行う診療科を選択すると、前回の来院時に使用した保険を自動設定できること。また、自動設定した保険を強制的に変更できること。
1-4-1-28	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	電子カルテシステムからの会計情報もしくはオーダ情報を元に科・保険・ドクターを自動設定できること。
1-4-1-29	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	医師が選択できること。また医師を選択する際、指定した日付で有効な医師のみを表示することができること。
1-4-1-30	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計業務画面に当日受付済みの科を表示し、診療行為入力時の科の間違いを抑止できること。また、受け付けた科の中で会計が終了した科については識別可能な状態で表示し、追加入力時のオペレータ判断を容易にすること。
1-4-1-31	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	コードの検索が入力行上でできること。検索方法は、「カナ読み」、「診療区分」、「略称コード」、「数字コード」、「伝票種別」、「解釈番号」を有すること。
1-4-1-32	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	コードの検索画面で「単価」での絞りこみができること。
1-4-1-33	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	カナ読みによる検索を行う際には、8文字まで入力できること。
1-4-1-34	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	伝票の検索ができること。また、検索した伝票の項目を同一画面で選択できること。
1-4-1-35	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	有効期限を超えた点数マスタは点数マスタ検索結果一覧に表示しないこと。
1-4-1-36	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	当月に有効期限切れになる点数マスタについては背景色もしくは文字色を変えて表示すること。
1-4-1-37	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	電子カルテシステムおよび分散入力で作成した診療データを診療行為入力部に展開するか否かを指示できること。
1-4-1-38	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	電子カルテシステムからの依頼情報および実施情報が確認可能なこと。
1-4-1-39	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	基本料および医学管理料等を行為入力欄に自動発生できること。
1-4-1-40	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	基本料や医学管理料等の前回算定日を表示できること。
1-4-1-41	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	基本料の自動発生させるタイミングを、診療行為入力前に行うか入力後に行うかの初期設定ができること。
1-4-1-42	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	計算書の確認・変更・発行ができること。
1-4-1-43	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	特定入院料算定時は、包括項目を自動的に算定しないようにできること。
1-4-1-44	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	基本的検体検査実施料、基本的X線診断料算定時は、包括項目を自動的に算定しないようにできること。
1-4-1-45	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	基本的検体検査実施料算定時は、基本的検体検査判断料を自動的に算定できること。
1-4-1-46	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	後期高齢者制度の資格がある患者で後期高齢者制度の登録がない場合に診療会計にてチェックできること。
1-4-1-47	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	検体検査判断料や調剤料など、入力した診療行為から自動発生したデータを行為入力画面で変更できること。

1-4-1-48	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	下記の医学管理料等、診療料算定時は、包括項目を自動的に算定しないこと。 ・外来診療料・小児科外来診療料・手術前医学管理料・手術後医学管理料・生活習慣病管理料・慢性維持透析患者外来医学管理料
1-4-1-49	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定した月内において、腫瘍マーカ検査、生化学的検査Ⅱ判断料、静脈血採取料の自動算定を抑制すること。
1-4-1-50	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	がん確定後の腫瘍マーカ検査入力の際、悪性腫瘍特異物質治療管理料への振り替えができること。
1-4-1-51	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	小児科の初診料算定月数を運用に合わせて自由に設定変更することができること。
1-4-1-52	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	行為入力画面に医学管理料等の算定情報、受診歴情報、外来入院の未収情報が表示できること。
1-4-1-53	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	算定チェックにおいてエラーになった場合に、メッセージを表示できること。
1-4-1-54	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	投薬、注射について薬剤の用途が省略された場合、自動的に手技を追加できること。(内服薬、外用薬、注射)
1-4-1-55	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来会計入力時、注射・点滴手技を同一会計内で複数入力した場合、ワーニングメッセージを表示すること。
1-4-1-56	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療行為入力中に入力内容の複写が行えること。
1-4-1-57	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療行為入力中に点数マスタの設定内容を表示できること。
1-4-1-58	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	内服7種類逡減処理の自動計算ができること。
1-4-1-59	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	長期投与の入力ができること(100日以上)。
1-4-1-60	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	都道府県単独事業における公費一部負担金の計算ができること。
1-4-1-61	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	基本料の自動振り分け(医科、歯科、労災)ができること。
1-4-1-62	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療行為についてフリーコメント(ワープロ入力)の入力ができ、レセプトに印字することが可能であること。
1-4-1-63	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計入力を終了しようとした際、入力内容にエラーがあった場合は、問題内容に対応したエラー／警告メッセージが表示され、行番号と色分け表示により問題をわかりやすく表示できること。
1-4-1-64	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入院患者の注射について一日まとめ機能を有していること。
1-4-1-65	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入院患者の酸素について一日まとめ機能を有していること。
1-4-1-66	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入院患者で「喀痰吸引」や「人工呼吸」などを、同一日に複数回実施した場合、優先度の高い手技に振替える機能を有すること。
1-4-1-67	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来計算書を自動的に入金済とするか、未収とするかを指定できること。
1-4-1-68	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	同月内で調剤技術基本料をすでに算定していた場合、院外処方を入力した場合警告表示を行うことができること。また、すでに同月内で院外処方算定済みで院内処方を算定した場合、調剤技術基本料の算定を抑制することができること。
1-4-1-69	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	薬引換券番号を自動発番できること。また、1請求書で6個まで引換券番号を保有することが可能であること。
1-4-1-70	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	電子カルテシステムから薬引換券番号を取得できること。また、取得した薬引換券番号は、医事システムから発行する請求書に印字可能であること。
1-4-1-71	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	単純撮影、造影撮影、特殊撮影等については、分画数入力も可能なこと。
1-4-1-72	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	定型の親コード入力により、子の内容を入力画面上に展開し、自由に追加・修正・削除できること。また展開する前にこの数量などを変更できること。
1-4-1-73	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	請求書に発行したオペレータ番号・端末・日時(何時何分何秒まで)が表示できること。
1-4-1-74	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入院において同一日に2種類以上の保険で投薬があった場合、任意の保険で自動発生させることが可能なこと。また、手入力することにより任意の保険で、算定することも可能なこと。
1-4-1-75	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	撮影種別(単純撮影、特殊撮影)毎に画像診断管理加算の自動発生を行うことが可能なこと。
1-4-1-76	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	会計条件(時間外区分)を患者毎にリセットするか否かの制御を行うことが可能なこと。
1-4-1-77	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計入力中に、業務を切り替えることなくワンタッチで登録個人病名の表示・確認が可能であること。また、表示する個人病名の表示条件(診療科、入外区分、レセプト対象年月、保険)の変更が随時可能であること。
1-4-1-78	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療明細書の出力が可能なこと。またその際、総ページ数を印字できること。
1-4-1-79	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療明細書の出力については、オンライン処理による計算書単位での発行機能を有していること。
1-4-1-80	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来化学療法加算1および2を入力した際、年齢に応じて同加算の置き換えが可能であること。
1-4-1-81	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入力途中にキャンセルキーを押した場合、確認メッセージを表示しオペレーションミス防止する機能が有ること。
1-4-1-82	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	入院中他科外来の場合に0点再診料を自動発生し、受診歴についても外来受診時と同じように更新可能であること。
1-4-1-83	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計の分散情報を展開する際に、マスタの設定に従いオーダ種別順に並び替える機能があること。
1-4-1-84	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	オーダ取り込み可能な分散情報を35日まで保存できること。
1-4-1-85	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	院外処方においても薬引換券番号を使用できること。
1-4-1-86	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計入力時に患者負担のない保険で入力することにより、点数マスタ上単価が設定されていても剤全体の点数を0として計算し患者請求せずに、レセプトに出力しない対応、統計に記録する機能があること。
1-4-1-87	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	電子カルテとの連携で重複算定不可などのエラーがあった場合、診療会計画面で内容を確認できること。
1-4-1-88	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療会計業務にて、強制的に点数を0点にする機能を有すること。
1-4-1-89	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	診療年月を含めた過去の収納情報をもとに集計した高額療養費情報を確認できること。
1-4-1-90	医事業務	診療会計業務	診療会計処理	外来の未収請求書、明細書を1か月分まとめて出力することが可能なこと。
1-4-2-1	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	下記の入力チェックができること。 ・後期高齢者制度によるチェック・年齢によるチェック・診療科によるチェック・算定回数によるチェック(X回/日、X回/月、X回/年)・入外区分によるチェック・通算1回チェック(1患者あたり1回)・日付によるチェック(以下の日付から設定期間内を入力可能または不可能にする)初診日、入院日、退院日・診療行為の排他チェック

1-4-2-2	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	下記の算定チェック、自動算定ができること。基本料・医科初再診の自動振分け算定・歯科初再診の自動振分け算定・労災初再診の自動振分け算定・乳幼児加算の自動算定・幼児加算の自動算定・時間外加算・時間外特例医療機関加算の算定・複数診療科における重複算定関連チェック・初診料と特定疾患療養管理料の相關チェック・外来診療料の包括算定・同日再診
1-4-2-3	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	同一日に新たに別の診療科を初診として受診した場合は2つ目の診療科の基本料として「初診（同日複数診療科）」を自動算定すること。また、再診についても同様の機能を有していること。
1-4-2-4	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	200床未満の医療機関においては、診療行為を判断し外来管理加算の自動算定を行なうこと。また、当日すでに外来管理加算を算定している患者が、併科受診または同日再診により、外来管理加算算定不可行為を算定した場合は、修正を促すメッセージを表示すること。
1-4-2-5	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	紹介患者の場合は初診時特定療養費算定を自動的に抑止すること。
1-4-2-6	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	入院基本料関連・入院基本料の自動算定・入退院履歴による入院基本料期間加算の自動算定・外泊時の自動算定・室料差額の自動算定・90日超入院に対応する機能を有すること。・180日を超える選定入院に対応する機能を有すること。・病棟毎の基本料を自由に設定する機能を有すること。また、施設基準変更時に対応でき、履歴管理する機能を有すること。・次月自動繰り越し機能があること。・DPCに対応する機能を有すること。
1-4-2-7	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	入院基本料等加算関連以下の加算について施設基準に応じて自動算定が可能であること。・総合入院体制加算・地域医療支援病院入院診療料・臨床研修病院入院診療加算・診療録管理体制加算・医師事務作業補助体制加算・急性期看護補助加算・乳幼児加算・幼児加算・特殊疾患入院施設管理加算・看護補助加算、看護配置加算・地域加算・離島加算・療養環境加算・重傷者、二類感染症患者、小児など療養環境特別加算・療養病棟療養環境加算・精神病棟入院時医学管理料・栄養管理実施加算・医療安全対策加算・感染防止対策加算・後発医薬品使用体制加算
1-4-2-8	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	療養病棟入院基本料を算定する病棟の場合は、ADLや疾患、病状等について厚生労働大臣が定める区分に従い、当該患者毎にそれぞれの所定点数を算定できること。
1-4-2-9	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	療養病棟入院基本料を算定している患者が急性増悪により一般病棟へ転棟した場合は、その日より起算して3日前までの期間は「療養病棟入院基本料」を算定できること。
1-4-2-10	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	療養病棟入院基本料を算定する場合は自動包括を行うが、急性増悪により同一医療機関の一般病棟へ転院、または別の医療機関の一般病棟へ転院する場合には、その日から起算して3日前までの間については療養病棟入院基本料を算定し、出来高算定できること。
1-4-2-11	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	食事療養費関連その他・特別食加算・食堂加算・電子カルテシステムから食事情報を取得し反映する機能を有すること。・療養病棟に入院する70歳以上の患者の場合は、生活療養費を算定する機能を有すること。
1-4-2-12	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	特定入院料以下の特定入院料を算定した際に、包括処理を自動で行えること。・救命救急入院料・特定集中治療室管理料・ハイケアユニット入院医療管理料・脳卒中ケアユニット入院医療管理料・新生児特定集中治療室管理料・総合周産期特定集中治療室管理料・総合周産期特定集中治療室管理料・新生児治療回復室入院医療管理料・一類感染症患者入院医療管理料・特殊疾患療養病棟入院料・小児入院医療管理料・回復期リハビリテーション病棟入院料・亜急性期入院医療管理料・特殊疾患入院医療管理料・緩和ケア病棟入院料・精神科救急入院料・精神科急性期治療病棟入院料・精神科救急・合併症入院料・精神療養病棟入院料
1-4-2-13	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	医学管理料等1以下の医学管理料について算定期間や限度回数などのチェック機能を有すること。・特定疾患療養管理料の算定チェック・ウイルス疾患指導料1の算定チェック・ウイルス疾患指導料2の算定チェック・特定薬剤治療管理料・腫瘍マーカーの検査名をレセプトに出力する機能を有すること。・小児特定疾患カウンセリング料の算定チェック・小児科療養指導料の算定チェック・てんかん指導料の算定チェック・難病外来指導管理料の算定チェック・皮膚科特定疾患指導管理料（I）の算定チェック・皮膚科特定疾患指導管理料（II）の算定チェック・外来栄養食事指導料の算定チェック・入院栄養食事指導料の算定チェック・集団栄養食事指導料の算定チェック・心臓ペースメーカー指導管理料の算定チェック・在宅療養指導料の算定チェック・高度難聴指導管理料の算定チェック・慢性維持透析患者外来医学管理料の算定チェック・喘息治療管理料の算定チェック
1-4-2-14	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	医学管理料等2以下の医学管理料について算定期間や限度回数などのチェック機能を有すること。・小児悪性腫瘍患者指導管理料の算定チェック・糖尿病合併症管理料の算定チェック・耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料の算定チェック・がん性疼痛緩和指導管理料の算定チェック・小児科外来診療料の算定チェック（包括処理を含む）・生活習慣病管理料の算定チェック・手術前医学管理料の算定チェック・手術後医学管理料の算定チェック・開放型病院共同指導料（I）（II）の算定チェック・ハイリスク妊産婦共同管理料（I）（II）の算定チェック・薬剤管理指導料の算定チェック・各種指導管理料について重複算定不可ルールの自動チェック、加算点数の算定。

1-4-2-15	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	在宅医療・在宅患者訪問診療料の算定チェック・在宅時医学総合管理料の算定チェック・在宅患者訪問看護・指導料の算定チェック・在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料の算定チェック・訪問看護指示料の算定チェック・在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定チェック・在宅患者訪問栄養食事指導料の算定チェック・在宅自己注射指導管理料の算定チェック・在宅自己腹膜灌流指導管理料の算定チェック・在宅血液透析指導管理料の算定チェック・在宅酸素療法指導管理料の算定チェック・在宅中心静脈栄養法指導管理料の算定チェック・在宅成分栄養経管栄養法指導管理料の算定チェック・在宅自己導尿指導管理料の算定チェック・在宅人工呼吸指導管理料の算定チェック・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の算定チェック・在宅悪性腫瘍等患者指導管理料の算定チェック・在宅寝たきり患者処置指導管理料の算定チェック・在宅自己疼痛管理指導管理料の算定チェック・在宅肺高血圧症患者指導管理料の算定チェック・在宅気管切開患者指導管理料の算定チェック・特定施設入居時等医学総合管理料の算定チェック・在宅患者連携指導料の算定チェック・在宅患者緊急時等カンファレンス料の算定チェック・各種在宅指導管理料の重複算定不可ルールに基づくチェック
1-4-2-16	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	検査料-1. 検体検査・出血・凝固検査まるめ算定・血液化学検査（生化学検査Ⅰ）まるめ算定・内分泌学的検査まるめ算定・腫瘍マーカーまるめ算定・ウイルス抗体価測定限度計算・肝炎ウイルス関連検査まるめ算定・グロブリンクラス別ウイルス抗体価測定まるめ算定・自己抗体検査丸めの自動算定・基本的検体検査判断料・実施料・生体検査3才未満の乳幼児加算の自動算定・検体検査管理加算・検体検査判断料の自動算定（尿・糞便等～微生物）・外来迅速検査加算の自動算定（1日につき最大5項目まで）・時間外緊急院内検査加算・静脈採血料の自動算定・乳幼児血液採取加算・同一会計時に複数料または複数保険にまたがった同一グループのまるめ検査が実施された場合のチェック
1-4-2-17	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	検査料-2. 生体検査・生体検査判断料の自動算定・生体検査における減額の自動算定・小児食物アレルギー負荷検査の算定チェック（年齢、回数）・実施時間による段階的計算・生体検査判断料の新生児・乳幼児加算・外来管理加算対象のチェック算定・同一検査月2回目以降90/100算定
1-4-2-18	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	画像診断・撮影回数による診断料・撮影料加算・単純撮影、造影撮影の限度回数を自動算定・撮影料の新生児・乳幼児加算の自動算定・胸部単純撮影、腹部単純撮影時のフィルムの乳幼児時加算・核医学診断料の自動算定・コンピュータ断層診断料・CTとMRIの当月2回目以降減額算定・CT、MRIの造影剤加算を自動算定・基本的エックス線診断料の自動算定・時間外緊急院内画像診断加算・画像診断管理加算1(写真診断)の自動算定・画像診断管理加算1(核医学診断)の自動算定・画像診断管理加算1(コンピューター断層診断)の自動算定・画像診断管理加算1(基本的X線診断)の自動算定(特定機能病院)・画像診断管理加算2(核医学診断)の自動算定・画像診断管理加算2(コンピューター断層診断)の自動算定
1-4-2-19	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	投薬料・調剤料の自動算定・処方料の自動算定・調剤技術基本料の自動算定・調剤技術基本料の算定における院外処方とのチェック算定・内服薬の多剤投与の減算・ビタミン剤のチェック・乳幼児加算・麻毒加算(麻薬・向精神薬・覚醒剤・毒薬)の自動算定・サンプル医薬品の自動判断・特定疾患処方管理加算の自動算定・治験対象薬剤のチェック・外来の同一会計内における院内処方・院外処方の混在チェック
1-4-2-20	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	注射料・静脈注射手技料の自動算定・その他注射手技料・乳幼児加算・麻毒加算の自動算定・生物学的製剤注射加算・中心静脈注射手技料の算定・ビタミン剤のチェック算定・注射用水(Aq)の自動算定を選択できること・通常点滴注射、精密持続注射、中心静脈注射、埋込型カテーテルによる中心静脈栄養の1日まとめの自動算定・治験対象薬剤のチェック
1-4-2-21	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	リハビリテーション・新生児・乳幼児加算・疾患別リハビリテーション料がそれぞれ算定限度日数まで算定できること・疾患別リハビリテーションの各限度日数超過後は、1月13単位を越えた場合のチェック機能を有すること・発症日、手術日または急性憎悪の日から30日を越えた場合は、早期リハビリテーション加算のチェック機能を有すること・労災特掲点数に対応していること。また、四肢加算が可能なこと。
1-4-2-22	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	処置料・時間外加算・新生児・乳幼児加算の自動算定・外来管理加算対象のチェック算定・実施時間の段階的加算・労災四肢加算・長期療養患者褥瘡等処置は入院期間が1年を超える患者であることをチェックする機能を有すること。
1-4-2-23	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	手術料・新生児・乳幼児加算の自動算定・時間外加算・乳幼児穿頭術後脳室ドレーナージ加算・労災の四肢加算・実施時間の段階的加算・難治性電磁波電気療法(一連につき)の患者1回限り算定とする機能を有すること。
1-4-2-24	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	輸血・自己血輸血・自己血貯血の手技料は200ml毎に段階的な加算ができること・6才未満の自己血貯血・自己血輸血については、入院時の体重を元に加算を自動計算できること。
1-4-2-25	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	麻酔・閉鎖循環式全身麻酔の麻酔時間による種類別自動算定・新生児・乳幼児加算の自動算定・時間外加算・実施時間の段階的加算・各種麻酔・神経ブロックの手技料の自動算定
1-4-2-26	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	病理・病理検体検査判断料の自動算定・組織診断料、細胞診断料の自動算定
1-4-2-27	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	その他・傷病手当金意見書交付日のレセプト表示・労災文書(休業補償、年金通知様式)の交付日のレセ表示機能を有すること・エックス線写真診断報告加算のチェック算定・核医学診断文書報告加算のチェック算定・コンピュータ断層診断文書報告加算のチェック算定・酸素の算定・院外処方箋料
1-4-2-28	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	窓口負担金・前期高齢者および後期高齢者外来一部負担金・食事標準負担額(減額認定)

1-4-2-29	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	人工腎臓（慢性維持透析）を実施時に使用した透析液、血液凝固防止剤、生理食塩水および別に厚生労働大臣が定める注射薬（特定薬剤）の費用を包括算定できること。
1-4-2-30	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	次の特定入院料を算定し、かつ、人工呼吸器を使用しない（人工呼吸器加算を算定しない）場合、酸素および窒素の費用を算定しないこと。・特殊疾患入院医療管理料・小児入院医療管理料・特殊疾患病棟入院料
1-4-2-31	医事業務	診療会計業務	入力チェック及び算定チェック、自動算定	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術は主たる手術にまとめて算定できること。
1-5-1-1	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	会計カードカレンダー部分の表示を、全て日付で表示するか表示期間を指定するのかが選択できる機能を有すること。
1-5-1-2	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	会計カードの参照・更新・削除ができること。
1-5-1-3	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	カレンダーの回数を直接変更できること。
1-5-1-4	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	入院会計カードの場合、入院料・特定入院料カレンダー・食事の有無・特別食・外泊情報・DPC包括期間名称がカレンダー上に表示できること。
1-5-1-5	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	保険パターンをワンタッチで表示し、保険情報を容易に確認できること。
1-5-1-6	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	診療会計業務と同等にコードの検索が入力行上でできること。検索方法は、「カナ読み」、「診療区分」、「略称コード」、「数字コード」、「伝票種別」、「解釈番号」を有すること。
1-5-1-7	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	コードの検索画面で「単価」での絞りこみができること。
1-5-1-8	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	カレンダー表示では、スクロール機能を有すること。
1-5-1-9	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	会計カード情報として、「適用保険」、「診療区分」、「診療科」、「点数×回数」、「カレンダー情報」を表示できること。
1-5-1-10	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	会計カードは99ヶ月分を保持できること。その間、レセプトおよび計算書の変更出力ができること。
1-5-1-11	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	カレンダー部分において、5日毎に青線を表示し、日毎のデータを容易に確認できること。
1-5-1-12	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	会計カードを科、保険単位で一括変更することが可能であること。
1-5-1-13	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	時間外加算を算定している剤(明細)については背景色を変えるなどして、目視での時間外加算の有無確認が容易に行えること。
1-5-1-14	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	院内処方、院外処方、退院時処方を識別表示できること。
1-5-1-15	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	当月の診療行為を全科で表示できること。
1-5-1-16	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	月・科毎の患者の合計点数の表示できること。
1-5-1-17	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	会計カードから業務を切り替えずにワンタッチで個人病名の参照ができること。
1-5-1-18	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	乳幼児加算を算定した場合、画面上でわかるシステムになっていること。
1-5-1-19	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	保険の期間外チェックができること。
1-5-1-20	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	保険の入外限定チェックができること。
1-5-1-21	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	保険の診療科限定チェックができること。
1-5-1-22	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	診療行為の当月限度回数チェックができること。
1-5-1-23	医事業務	会計カード検索業務	会計カード検索処理	外来診療料等の包括チェックができること。
1-6-1-1	医事業務	収納業務	収納処理	計算書の確認・変更・再発行ができること。
1-6-1-2	医事業務	収納業務	収納処理	計算書一覧の表示条件（入外区分、昇順/降順、診療科）を指定できること。
1-6-1-3	医事業務	収納業務	収納処理	未収登録・入金処理ができること。
1-6-1-4	医事業務	収納業務	収納処理	計算書を手書きイメージで自由に作成できること。
1-6-1-5	医事業務	収納業務	収納処理	手書きイメージの計算書を作成する際に、他の計算書をコピーする事ができること。
1-6-1-6	医事業務	収納業務	収納処理	計算書一覧画面で計算書を新しいものから表示するか古いものから表示するかを指定できること。
1-6-1-7	医事業務	収納業務	収納処理	変更画面から計算書一覧画面に戻れること。
1-6-1-8	医事業務	収納業務	収納処理	受取金額の入力により、釣銭の自動計算ができること。
1-6-1-9	医事業務	収納業務	収納処理	端末毎に入金した額を入外別に集計できること。
1-6-1-10	医事業務	収納業務	収納処理	領収書や請求書の出力先を端末毎に指定できること。
1-6-1-11	医事業務	収納業務	収納処理	収納処理操作履歴を検索表示できること。
1-6-1-12	医事業務	収納業務	収納処理	入金処理の途中で計算書の内容を確認表示できること。
1-6-1-13	医事業務	収納業務	収納処理	入金履歴管理は1計算書につき100件まで登録可能であること。
1-6-1-14	医事業務	収納業務	収納処理	入金履歴毎に入金処理日を登録することができること。（入金日とは別に日付を保持することができること）
1-6-1-15	医事業務	収納業務	収納処理	入金履歴毎に入金理由を登録することができること。
1-6-1-16	医事業務	収納業務	収納処理	計算書の状態毎に任意でその理由区分を設定できること。
1-6-1-17	医事業務	収納業務	収納処理	計算書毎に使用保険の表示を行い、一覧画面で確認できること。
1-6-1-18	医事業務	収納業務	収納処理	計算書毎にコメント（注釈）の登録ができ、一覧画面で表示できること。
1-6-1-19	医事業務	収納業務	収納処理	計算書一覧画面では、未収計算書のみを表示対象とすることが可能であること。

1-6-1-20	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面において診療点数および患者請求金額、一部負担金の表示が可能であること。
1-6-1-21	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面において計算書の作成時間の表示が可能であること。
1-6-1-22	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面において計算書の更新時間の表示が可能であること。
1-6-1-23	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面において計算書を更新した端末名の表示が可能であること。
1-6-1-24	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面において計算書の更新者（オペレータコード）の表示が可能であること。
1-6-1-25	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面において計算書の状態を変更した日時（何時何分何秒まで）と変更を行った更新者（オペレータコード）の表示が可能であること。
1-6-1-26	医事業務	収納業務	収納処理	計算書確認変更画面においては患者IDと患者氏名の表示が可能であること。
1-6-1-27	医事業務	収納業務	収納処理	1会計で計算書が複数枚になる場合を考慮し、画面への枚数表示（1/2など）ができること。
1-6-1-28	医事業務	収納業務	収納処理	領収書を出力することが可能であること。（計算書とは別の様式で出力することが可能であること）
1-6-1-29	医事業務	収納業務	収納処理	発行日、入外区分、発行番号を指定することで計算書の検索を行うことが可能であること。
1-6-1-30	医事業務	収納業務	収納処理	オペレータ毎に各種操作（書損、変更、未収、再発行、入金、入金履歴）の制限を行うことが可能であること。
1-6-1-31	医事業務	収納業務	収納処理	請求書の集計項目を、保険項目（基本料、投薬料等）と自費項目（文書料、容器代等）で99項目（固定項目を含む）まで設定できること。
1-6-1-32	医事業務	収納業務	収納処理	請求書の集計項目の合計行を、上部または下部に固定表示できること。
1-6-1-33	医事業務	収納業務	収納処理	前項の集計項目（文書料、容器代等）毎に消費税計算が行えること。
1-6-1-34	医事業務	収納業務	収納処理	計算書毎に薬引換券番号を最低でも5個まで管理でき、計算書に印字できること。また、印字可能範囲を超えた薬引換券番号がある場合は、計算書にその旨がわかるような印字が行えること。
1-6-1-35	医事業務	収納業務	収納処理	計算書は一意の管理番号を自動で付番できること。
1-6-1-36	医事業務	収納業務	収納処理	保険情報、会計情報の追加・修正等で患者請求額が変動する場合、再計算を行うことで差額計算書の発行できること。
1-6-1-37	医事業務	収納業務	収納処理	保険情報、会計情報の追加・修正などで患者請求額が変動する際に差額計算書を発行しない場合は、元の計算書を書損登録することで、新規に正しい計算書を作成することが可能であること。
1-6-1-38	医事業務	収納業務	収納処理	自立支援患者が当月他の医療機関にて一部負担金を支払済みの場合は、その金額を考慮して月限度額までの請求が可能であること。
1-6-1-39	医事業務	収納業務	収納処理	1画面に20件以上請求書情報を1度に表示し確認できること。
1-6-1-40	医事業務	収納業務	収納処理	再計算時の条件として、入外区分、請求期間の開始日、終了日を自動で設定できること。
1-6-1-41	医事業務	収納業務	収納処理	0円の未収計算書を作成することができること。また、その計算書に対して入金処理を行うことが可能なこと。
1-6-1-42	医事業務	収納業務	収納処理	入金処理時、指定した患者に複数の未収計算書がある場合、まとめて入金処理が可能なこと。
1-6-1-43	医事業務	収納業務	収納処理	入金処理時、複数の計算書をマウスで選択することにより、未収金額を合算し、入金処理が可能なこと。
1-6-1-44	医事業務	収納業務	収納処理	収納情報として納付番号、納付日、納付期限、調定日を管理することが可能なこと。また、入金毎に入金調定日、領収番号を管理することが可能なこと。
1-6-1-45	医事業務	収納業務	収納処理	計算書（領収書）は契機毎の形式で出力できること。例）外来計算書、退院計算書等
1-6-1-46	医事業務	収納業務	収納処理	収納業務にてその日の集計結果（日計表）を画面表示でき、端末名や集計者（集計グループ）、期間、時間範囲指定も可能であること。
1-6-1-47	医事業務	収納業務	収納処理	入金、書損などの履歴の検索表示を行えること。
1-6-1-48	医事業務	収納業務	収納処理	発行済計算書の検索表示を行えること。
1-6-1-49	医事業務	収納業務	収納処理	収納業務のレジ処理で未収計算書の表示件数を200件まで表示できること。
1-7-1-1	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	医科病名の登録・変更・削除ができること。歯科についても同様の処理ができること。
1-7-1-2	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	医科歯科ともコード入力の際に、カナおよび漢字での病名検索ができること。
1-7-1-3	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	医科歯科ともコード入力の他にワープロ入力できること。また、ワープロ入力病名は色等を変えて、コード入力されたものと区別できること。
1-7-1-4	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	コード入力の際には、病名と修飾語（接頭語・接尾語等）を自由に組み合わせて日本語病名の合成が可能であること。
1-7-1-5	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名一覧画面について、全科の病名を表示するか特定の科のみ表示するかを選択もしくは端末毎に設定できること。
1-7-1-6	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	年月指定により、参照したいレセプトに表示する病名のみを抽出して病名一覧画面に表示できること。
1-7-1-7	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	登録済病名を複写できること。
1-7-1-8	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	患者を配慮すべき病名がある場合、利用者の操作で表示するかを設定できること。
1-7-1-9	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	未来日付の転帰日を入力できること。
1-7-1-10	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	転帰区分は治癒、死亡、中止、転医、軽快などの登録ができること。
1-7-1-11	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名は主病名登録ができること。
1-7-1-12	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名コードは厚生省マスタコードを使用し内部にICD-10が付与できること。
1-7-1-13	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名毎に保険指定できる機能があること。また、有効保険を検索する機能を有すること。
1-7-1-14	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名に対して保険指定をしている場合は、保険により病名を抽出して病名一覧画面に表示できること。
1-7-1-15	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名はレセプト科単位で抽出して病名一覧画面に表示できること。
1-7-1-16	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名オーダ連携時、病名一覧画面表示にて電子カルテシステムから取り込んだ病名と医事システムで登録した病名を識別できること。
1-7-1-17	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名単位に科の限定 および 外来/入院/入外共通の限定が可能なこと。また、全科適用病名としての登録も可能なこと。
1-7-1-18	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	主病名区分および優先順位の入力により、レセプトへの病名出力順を制御できること。
1-7-1-19	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	各種慢性・特定疾患等区分をマスタ設定することで、会計入力時に指導管理料の自動発生が行えること。

1-7-1-20	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	病名一覧画面について、全科の病名を表示するか特定の科のみ表示するかを選択もしくは端末毎に設定できること。
1-7-1-21	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	歯科の歯式、ブリッジ、乳歯を登録する機能を有すること。
1-7-1-22	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	歯科病名の部位は、入力欄が4分割された歯式形式での登録・表示が可能であること。
1-7-1-23	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	診療開始日とレセプト表示開始日を分けて登録する機能を有すること。
1-7-1-24	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	廃止病名は文字色を変えるなどして判別が容易に行えること。また、廃止病名を登録しようとした際にはアラート表示を行うこと。
1-7-1-25	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	傷病名のレセプト表示期限の年月を設定する機能を有しており、疑い病名などの転帰登録がない場合でも、設定した年月以降はレセプトに表示させないことが可能であること。
1-7-1-26	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	開始日の異なる同一傷病名が存在する場合に、開始日の古い方をレセプトに印字するのか、それぞれの病名を印字するのかが設定できること。
1-7-1-27	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	個人病名を1科で最大200件まで登録することが可能なこと。また、レセプトにおいては病名を900件まで表記することが可能なこと。
1-7-1-28	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	1つの業務画面で傷病名の参照や登録ができること。
1-7-1-29	医事業務	病名登録業務	病名登録業務	個人病名業務の抽出条件にて「転帰区分」が選択でき、「全て／転帰病名のみ／転帰病名以外」の条件で病名情報を表示できること。
1-8-1-1	医事業務	予約業務	個別予約	電子カルテシステムおよびその他部門システムから、予約の登録・変更情報を取得可能であること。
1-8-1-2	医事業務	予約業務	個別予約	患者毎に予約登録・予約確認・予約削除を行うことができること。
1-8-1-3	医事業務	予約業務	個別予約	予約情報として予約科・予約日・予約コメントを登録できること。
1-8-1-4	医事業務	予約業務	個別予約	休日・予約時間外および過去日などの予約登録不可能枠については、背景色を色分け表示できること。
1-8-1-5	医事業務	予約業務	個別予約	外来総括票の一括発行およびカルテ管理システムなどへ予約情報を一括送信できること。
1-8-2-1	医事業務	予約業務	外来一括予約登録	予約情報として予約科・予約日・予約コメントを登録できること。
1-8-2-2	医事業務	予約業務	外来一括予約登録	外来総括票の一括発行およびカルテ管理システムなどへ予約情報を一括送信できること。
1-9-1-1	医事業務	症状詳記登録変更業務	症状詳記登録変更	患者毎にレセプト電算提出ファイルに記録する症状詳記データの登録、変更および印刷することが可能であること。
1-10-1-1	医事業務	臓器提供者レセプト情報登録変更業務	臓器提供者レセプト情報登録変更	患者毎にレセプト電算提出ファイルに記録する臓器提供者のレセプト情報を登録・変更することが可能であること。
1-11-1-1	医事業務	返戻レセプト業務	返戻レセプト業務	オンラインから返戻された返戻データを医事システムに取り込み、画面上で修正できる機能を有すること。また、再請求可能となった返戻レセプトデータは、再請求ファイルに記録し、審査支払機関へ提出できること。
1-11-1-2	医事業務	返戻レセプト業務	返戻レセプト業務	画面を切り替えることなく返戻された患者データを一画面で参照できること。
1-12-1-1	医事業務	生保管理機能	生保管理機能	生活保護受給者の医療券情報を登録する画面を有すること。
1-12-1-2	医事業務	生保管理機能	生保管理機能	生活保護費支給票、医療要否意見書、医療依頼書生活保護受給者等の文書を管理することが可能であること。
1-12-1-3	医事業務	生保管理機能	生保管理機能	各文書種別に対し、取扱日時ごとに相談などの記録を登録し、管理が行えること。
1-12-1-4	医事業務	生保管理機能	生保管理機能	更新権限の有無を設定もしくは表示On/Offで制御可能であること。
1-12-1-5	医事業務	生保管理機能	生保管理機能	患者毎にコメント登録が可能であること。
1-13-1-1	医事業務	外来ステータス機能	外来ステータス機能	患者がどのようなステータスにあるのかを医事会計画面にて管理できること。
1-14-1-1	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	印刷前にレセプトプレビュー画面が表示でき、ページ指定（単一指定、範囲指定）による出力が可能であること。
1-14-1-2	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	レセプト処理（ファイル作成処理、印刷処理）中でも、窓口業務を通常通り行えること。
1-14-1-3	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	患者番号指定で処理できること。
1-14-1-4	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	診療科コード指定で処理できること。
1-14-1-5	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	処理毎に実行条件（入外区分、保険区分、レセプト区分、テスト患者区分、病棟コード）を指定できること。
1-14-1-6	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	仮レセプトの処理ができること。また、仮レセプトの際には院外処方内容の印字もできること。また院外処方の点数も印字できること。
1-14-1-7	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	退院レセプト（月内の指定日における退院済み患者分、および、月末時点との差分）の処理ができること。
1-14-1-8	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	会計カード（カレンダー）形式のレセプトが出力できること。
1-14-1-9	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	レセプト編集ファイルをイメージ形式で保存できること。また、保存したデータから患者IDを指定してレセプトを印刷できること。
1-14-1-10	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	テスト患者を除いて各処理を行うことができること。また、テスト患者の範囲は任意に指定できること。
1-14-1-11	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	医科、歯科、労災（アフターケア含む）、自賠、公害レセプトに対応できること。
1-14-1-12	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	治験レセプトの処理ができること。
1-14-1-13	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	出産育児一時金の直接支払制度に対応し、専用請求書の作成ができること。
1-14-1-14	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	診断群分類包括評価（DPC）対応レセプトに対応できること。
1-14-1-15	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	保険にて判断が可能な特記事項については、レセプト毎に自動出力に対応していること。
1-14-1-16	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	歯科のレセプト・会計カードについては、歯科病名・歯式を出力できること。
1-14-1-17	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	主病名と副病名の区別ができること。
1-14-1-18	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	点数マスタに設定した材料の単価を、マスタ表示名称の一部として自動変換し、出力できること。
1-14-1-19	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	保険の有効チェックが行え、エラーリスト出力できること。
1-14-1-20	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	病名未登録チェックが行え、エラーリスト出力できること。
1-14-1-21	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	出力順を複数のパターンから選択できること。（用紙種別毎に診療科、患者IDなど）

1-14-1-22	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	欄外に病院固有情報が出力できること。(患者番号・ドクター・病棟・発行時間・ページなど)
1-14-1-23	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	高額レセプト用の薬剤日計表の出力が可能なこと。
1-14-1-24	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	患者コメント業務にて入力したコメント内容を任意の場所に出力できること。
1-14-1-25	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	特定の指導料などは算定歴より初回、もしくは前回算定日の印字が自動でできること。
1-14-1-26	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	特定の薬剤などは算定歴より初回算定日の印字が自動でできること。
1-14-1-27	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	オーバーレイを使用し、白紙への出力が可能であること。
1-14-1-28	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	同一患者レセプトの1号用紙、2号用紙(続紙)は連続して印刷されること。また、ホッパーの指定ができること。
1-14-1-29	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	地方公費のレセプトへの表示・非表示に対応できること。
1-14-1-30	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	患者指定レセプト処理において、日計表、第三者請求分レセプトを出力することが可能なこと。
1-14-1-31	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	退院処方の場合、レセプト摘要欄に処方日数を自動表記できること。
1-14-1-32	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	処方箋料や処方料の算定科名をレセプト摘要欄に自動表記できること。
1-14-1-33	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	レセプトに生保医療券交付番号を出力できること。
1-14-1-34	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	労災レセプトに請求回数を出力できること。
1-14-1-35	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	労災レセプトについて、傷病の経過を4行目まで出力すること。
1-14-1-36	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	公害レセプトには記号番号欄に、記号・番号を出力できること。
1-14-1-37	医事業務	保険請求業務	保険請求処理	公費によっては負担金欄に空白ではなく「0」で出力できること。地方公費でも同様に対応できること。
1-14-2-1	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	患者用フリーコメントを100文字までで100件登録できること。
1-14-2-2	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	登録したコメントをレセプトの摘要欄に出力できること。
1-14-2-3	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	レセプトの摘要欄に表示する場合、以下の限定条件の設定がコメント毎に可能であること。・指定入外区分のレセプト・指定保険のレセプト・指定診療科のレセプト・指定診療期間(年月)のレセプト
1-14-2-4	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	レセプトの摘要欄に表示する場合、指定した診療区分に編集が可能であること。また、表示位置(摘要欄の先頭や診療区分の先頭など)を指定できること。
1-14-2-5	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	レセプトの摘要欄に表示する場合で、同一条件の場合は編集の順番を指定できること。
1-14-2-6	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	レセプトの特記事項に表示する文字を「01:公」、「02:長」などから選択することが可能であること。なお、表示する区分はマスタによって設定が可能であること。
1-14-2-7	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	登録したコメントや特記事項を包括レセプト、出来高レセプトの両方もしくはどちらかに出力させるか指定できること。また、総括表レセプトへの表示も可能であること。
1-14-2-8	医事業務	保険請求業務	患者コメント出力機能	レセプトの摘要欄に表示する場合、医科のみもしくは歯科のみでの編集が可能であること。
1-14-3-1	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	レセプト作成処理を行わずにレセプトイメージの画面表示・印刷が行えること。
1-14-3-2	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	歯科レセプトイメージの画面表示が、DPC/出来高を問わず行えること。
1-14-3-3	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	歯科・労災・公害・自賠・第三者のレセプトイメージも画面表示が行えること。
1-14-3-4	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	同一患者で医科/歯科/労災/自賠/第三者/公害のうち複数種のレセプトがある場合は、同一画面で簡単に切り替えて表示できること。
1-14-3-5	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	レセプトの汎用表示モード、会計リストモード、プレビューモード(レセプトイメージ)の切り替えが可能であること。
1-14-3-6	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	データ修正の為、レセプトの汎用表示モード、会計カードリストモード画面より、患者登録業務、個人病名登録業務、会計カード業務の起動が行えること。レセプトの汎用表示モード画面では、摘要欄のみスクロール表示することで、基本情報や病名等を常時確認できること。
1-14-3-7	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	提出形式の1患者1枚レセプト以外に、点検用としてレセプト科別(旧総合病院のレセプト提出科別)にも表示できること。また、院外処方の内容についても表示ができ、病名と処方内容を同時に参照ができること。
1-14-3-8	医事業務	保険請求業務	レセプト画面表示機能	DPCの場合、レセプトイメージの画面表示にて強制的に出来高表示できること。
1-14-4-1	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	レセプト電算用の厚生労働省の基本マスタ(点数マスタ、病名マスタなど)を使用して磁気媒体に厚生労働省の「記録条件仕様」にしたがって記録することができること。また、オンライン請求にも対応できること。
1-14-4-2	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	社保、国保、公費などの、支払基金および国保連合会が扱うレセプトの電算ファイルが作成できること。診療報酬請求書(総括表)、高額レセプト日計表については、紙による出力が行えること。
1-14-4-3	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	レセプト電算に使用されるコメントについては、厚生労働省のフリーコメント、固定コメント、フリーコメントと固定コメントの混在パターンを使用できること。
1-14-4-4	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	レセプト電算データの保管が行えること。また、保管したデータから再度提出媒体の作成ができること。
1-14-4-5	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	レセプト電算データからレセプト印刷イメージの参照が可能なこと。
1-14-4-6	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	レセプト電算データに含まれる分の簡易集計表の作成ができること。
1-14-4-7	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	診断群分類包括評価(DPC)対応の記録条件仕様にしたがって記録する対応ができること。
1-14-4-8	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	ドナー情報とレシピエント情報からレセプト電算を作成することができること。
1-14-4-9	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	レセプト電算ファイルに記録された負担金等に変更が発生した場合、レセプト電算ファイルの内容を直接修正する機能を有すること。
1-14-4-10	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	歯科レセプト電算に対応していること。

1-14-4-11	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	歯科レセプトでは加算コードは、手技コードの付帯コードとして1レコードで出力することができること。
1-14-4-12	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	医科歯科共通の診療行為は、歯科レセ電コードへの自動振替ができること。
1-14-4-13	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	歯科レセプトでも算定日・実施日のコメントコードが出力できること。
1-14-4-14	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	歯科レセプトでは歯式をコード化して出力できること。
1-14-4-15	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災レセプト電算処理（歯科・アフターケアは除く）に対応し、以下の機能を有すること。
1-14-4-16	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	厚生労働省が定めた規格・方式（記録条件仕様）に基づいて、労災レセプト電算処理マスタコードおよび医療保険請求に係るマスタ（基本マスタ）を使用して、CSV形式でレセプトを記録できること。また、オンライン請求にも対応できること。
1-14-4-17	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災固有の診療行為については、労災診療行為マスタで提供されたレセプト電算コードで記録できること。
1-14-4-18	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災診療費算定基準に記載されている特定器材や定型的な文字等についても、労災特定器材マスタ、労災コメントマスタで提供されたレセプト電算コードで記録できること。
1-14-4-19	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災レセプト電算データ作成時に、基本データに対するチェックが行え、エラーリストの出力ができること。
1-14-4-20	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災レセプト電算データの保管が行えること。
1-14-4-21	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災レセプト電算データからレセプト印刷イメージの参照が可能なこと。
1-14-4-22	医事業務	保険請求業務	レセプト電算機能	労災レセプト電算データに含まれる分の簡易集計表の作成ができること。
1-14-5-1	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプト点検作業を画面上にて行える業務を提供できること。
1-14-5-2	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプト作成処理を実行することなく、前日までのレセプトが随時参照できること。
1-14-5-3	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検済み、未点検、再点検、点検対象外などの一件毎すべてのレセプトデータの状態で管理できること。
1-14-5-4	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検対象とするレセプトを条件（診療年月、入外、科、医師、総点数、病名なし、総点数、請求先、法別番号）指定により一覧表示できること。また、一覧表示後、条件（患者番号、科、総点数など）指定により並び替えもできること。更にその抽出対象分のレセプトを一括して印刷できること。
1-14-5-5	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検対象一覧画面にて詳細なレセプト情報を参照しなくとも各レセプトの点数情報（基本料あり、投薬料ありなど）の把握ができること。
1-14-5-6	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検担当者毎に点検対象とするレセプトの条件（入外、科、病棟）を指定して画面上で対象レセプトの抽出が行えること。
1-14-5-7	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプトイメージの点検画面で点検・コメント記入（付箋貼付）できること。また、レセプトイメージに印字することもできること。
1-14-5-8	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプト点検画面の傷病名欄、保険欄、請求点数欄、食事情報欄、摘要欄に医事課向け付箋が貼付けできること。
1-14-5-9	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプト点検画面の傷病名欄、保険欄、請求点数欄、食事情報欄、摘要欄に医師向け付箋が貼付けできること。
1-14-5-10	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	貼り付けた付箋にマウスポインターを合わせると、記載内容をポップアップ表示できること。
1-14-5-11	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	同一箇所に複数枚の付箋を貼り付けることができること。
1-14-5-12	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	一度貼り付けた付箋を編集したり、削除できること。
1-14-5-13	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	必要なレセプトは紙への印刷ができること。
1-14-5-14	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	DPC入院の場合はDPCレセプト摘要欄の他に包括部分も表示できること。
1-14-5-15	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	進捗一覧を表示でき、診療科別またはオペレータ別に進捗確認ができること。
1-14-5-16	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検レセプト（仮レセ）の内容と各種情報を1画面で表示できること。また、DPCレセプトにも対応可能なこと。
1-14-5-17	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検を依頼する医師の管理ができること。
1-14-5-18	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	医師へのレセプト点検の依頼および点検済みの管理（依頼済み、未返却の把握）ができること。
1-14-5-19	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	点検状況、医師依頼状況、請求／保留の比率など集計・グラフ化できること。（診療科別、オペレータ別、依頼医師別など）
1-14-5-20	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプト保留機能があり、条件設定で一括保留も可能なこと。
1-14-5-21	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	過月の保留データと当月の請求データを関連付ける機能を有すること。
1-14-5-22	医事業務	保険請求業務	レセプト院内審査機能	レセプト院内審査での歯科業務に対応していること。
1-15-1-1	医事業務	レセプトチェック機能	レセプト院内審査機能	レセプト発行を行うことなく随時レセプトチェックが可能であること。複数の端末にて異なるチェック条件を割り当てることができること。（チェック担当者がそれぞれチェック対象患者を指定して処理することが可能であること。）
1-15-1-2	医事業務	レセプトチェック機能	レセプト院内審査機能	エラー帳票は、科別・保険別・病棟別・チェック内容別などに分類が可能であり、容易にチェック結果を配布することができること。
1-15-1-3	医事業務	レセプトチェック機能	レセプト院内審査機能	エラーモニター機能を有し、端末画面上でエラーの一覧、詳細情報の確認が可能であること。

1-16-1-1	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	様式1入力項目を登録・変更・処理できること。
1-16-1-2	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPCコードによる包括・診療計算（定期請求を含む）ができること。
1-16-1-3	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPCレセプト（総括表を含む）の出力ができること。
1-16-1-4	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPCレセプト電算に対応していること。
1-16-1-5	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	様式1ファイルが作成できること。
1-16-1-6	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	E/Fファイルが作成できること。
1-16-1-7	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	様式4ファイルが作成できること。
1-16-1-8	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	Dファイルが作成できること。
1-16-1-9	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC請求履歴を保持し、保険請求後の診断群分類変更に伴う差額請求処理（退院月に含める）ができること。
1-16-1-10	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	請求・領収書に包括点数を表示できること。
1-16-1-11	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	計算書確認・変更画面において、包括評価点数および診断群分類コードが表示できること。
1-16-1-12	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	様式1入力項目については、電子カルテシステムとの連携インターフェイスを備えていること。
1-16-1-13	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPCチェックリストにて、DPC情報の未登録や入院日の整合性などがチェックできること。
1-16-1-14	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	入退院業務で入院料金を試算する際に、DPC計算か出来高計算かの指定が可能であること。
1-16-1-15	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	特定入院料を算定する部屋・病棟に移動した場合は、自動的に出来高計算ができること。
1-16-1-16	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	全患者一括、もしくは患者指定でEFDファイルを作成する機能を有すること
1-16-1-17	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	指定した年月の前月に入院期間IIIを越えた患者のチェックリストを作成できること。
1-16-1-18	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPCにおけるコーディングデータの作成ができること。
1-16-1-19	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	患者指定で様式1ファイルを作成する機能を有すること。
1-16-1-20	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC入院カレンダーと様式1ファイルの突合せを行い、処理当月に必要な様式1対象期間に対するDPC情報が登録されているかをチェックできること。
1-16-1-21	医事業務	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC（診断群分類別包括評価）機能	DPC情報を一覧表示した際、同一入退院のDPC情報がどうか識別する機能を有すること。
1-17-1-1	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	点数マスタの登録・変更・削除・複写ができること。
1-17-1-2	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	参考点数マスタが提供されること。また診療報酬改定時には自動更新を行うことが可能であること。また、管理番号とのマッチングにより、診療報酬に準拠した病院個別コードについても自動置換えが可能であること。
1-17-1-3	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	医療費改定を考慮し、点数マスタの最大9世代管理が可能であること。
1-17-1-4	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	特定保険医療材料の価格改定等を考慮し、1世代あたり5つまで単価を管理できること。
1-17-1-5	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	セットマスタの登録・変更・削除・複写ができること。
1-17-1-6	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	単価での検索ができること。
1-17-1-7	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	一つの点数マスタを複数の別コードで管理できること。またそれぞれに対し別名称で管理できること。レセプト記載用の名称も管理できること。
1-17-1-8	医事業務	マスタ登録変更業務	点数マスタ登録変更	点数マスタを更新した情報（更新者、更新時間等）が後でも確認が可能なこと。
1-17-2-1	医事業務	マスタ登録変更業務	病名マスタ登録変更	MEDISに準拠した病名マスタを有していること。

1-17-2-2	医事業務	マスタ登録変更業務	病名マスタ登録変更	病名マスタの登録・変更・削除・複写ができること。
1-17-3-1	医事業務	マスタ登録変更業務	システム管理 ファイル登録 変更	計算書の管理番号、外来発行番号、入院発行番号を表示変更できること。
1-17-4-1	医事業務	マスタ登録変更業務	オペレータマスタ登録変更	オペレータ番号、氏名、パスワード等の登録・変更・削除ができること。
1-17-4-2	医事業務	マスタ登録変更業務	オペレータマスタ登録変更	オペレータ毎に使用できる窓口業務の選択ができること。
1-17-4-3	医事業務	マスタ登録変更業務	オペレータマスタ登録変更	オペレータ毎に更新・参照等の権限の設定ができること。
1-17-4-4	医事業務	マスタ登録変更業務	オペレータマスタ登録変更	オペレータ毎にパスワードの有効期限が設定できること。
1-17-5-1	医事業務	マスタ登録変更業務	ドクター登録 変更	医師コード、氏名、担当科の登録・変更・削除ができること。
1-17-6-1	医事業務	マスタ登録変更業務	部屋マスタ登録 変更	部屋番号、所属病棟、室料差額等の登録・変更・削除ができること。
1-17-6-2	医事業務	マスタ登録変更業務	部屋マスタ登録 変更	室料差額の世代管理が可能なこと。
1-17-7-1	医事業務	マスタ登録変更業務	入院料病棟別 加算マスタ登録 変更	病棟毎や部屋毎に入院基本料関連の設定変更が可能なこと。
1-17-8-1	医事業務	マスタ登録変更業務	算定区分マスタ 登録変更	診療行為算定条件（初診日、前回算定日等の日付条件）の登録・変更・削除ができること。
1-17-9-1	医事業務	マスタ登録変更業務	指導料マスタ 登録変更	診療行為算定条件（他の診療行為との排他条件）の登録・変更・削除ができること。
1-17-10-1	医事業務	マスタ登録変更業務	共通マスタ作成 機能	導入時分類や機能別分類による検索機能、データ項目に関する選択肢制限などの表示機能を有すること。
1-17-10-2	医事業務	マスタ登録変更業務	共通マスタ作成 機能	共通マスタを更新した情報（更新者、更新時間等）が後でも確認が可能なこと。
2-1-1-1	医事統計業務	DWH		医事会計システムのデータを二次活用するため、以下の機能を有するDWHを提供すること。
2-1-1-2	医事統計業務	DWH	取込	DWHへのデータの取込は日々自動で実行できること。
2-1-1-3	医事統計業務	DWH	取込	月次の患者数データや稼働額データは、レセプトが確定した時点で処理を行い、移行データ更新が行われないようにできること。
2-1-1-4	医事統計業務	DWH	取込	★医事統計の標準構成モデルに合わせて以下のどちらかの記載のみとすること ★・医事会計システムと同様に99カ月分のデータを保持できること。・200カ月分のデータを保持できること。
2-1-2-1	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	SQLの知識が無くてもデータベースに対する問い合わせや集計ができるように、以下の機能を有するデータ分析ツールを提供すること。
2-1-2-2	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	任意の項目を指定し、明細データの抽出ができること。
2-1-2-3	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	任意の項目を指定し、クロス集計ができること。
2-1-2-4	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	集計のキーには、利用者がデータ値（値の範囲、文字列の一部の桁など）により分類定義した項目を使用できること。
2-1-2-5	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	抽出・集計の定義をファイルに保存して、いつでも再実行できること。
2-1-2-6	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	抽出結果や集計結果はEXCEL、CSVの各形式で保存可能なこと。
2-1-2-7	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	集計結果から掘り下げ分析ができること。
2-1-2-8	医事統計業務	BIツール	データ分析 ツール	テーブルの任意の項目の演算結果を新たに項目として追加できること。
2-1-3-1	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	すぐ使えるコンテンツを標準提供すること。
2-1-3-2	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	標準帳票（日次、月次、随時）として下記帳票が出力可能なこと。
2-1-3-3	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	日次帳票・外来患者数日報（科別・医師別・年齢別・地域別・保険別）・入院患者数日報（科別・病棟別）・入金日計表・入院患者一覧・退院患者一覧・診療データ未取込一覧・分散データエラー一覧・移動分散データエラー一覧・分散DPCエラー一覧
2-1-3-4	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	月次帳票・外来患者数月報（科別・医師別・年齢別・地域別・保険別）・入院患者数月報（科別・病棟別・医師別・年齢別・地域別・保険別）・外来稼働額月報（科別・医師別・保険別）・入院稼働額月報（科別・病棟別・医師別・保険別）・入院稼働額集計表（科別、病棟別）・稼働額出来高按分比較表（科別、病棟別、DPC別、MDO別）・稼働額明細表（DPCコード別患者別、DPCコード別科別）・退院患者数集計表（DPCコード別・科別・科別DPCコード別）
2-1-3-5	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	随時帳票・入院患者一覧・退院患者一覧・患者台帳・入院台帳・収納台帳（外来計算書・退院計算書・再計算書・返金計算書・自由計算書・定期請求計算書・移行データ）・消費税請求一覧表・指定病名登録者一覧表・薬品使用量一覧・指定保険使用者一覧・指定保険使用者一覧（通常・本人／家族）・指定保険使用者一覧（継続・本人／家族）・指定コード使用者一覧・長期入院患者チェックリスト・選定入院患者チェックリスト・未会計患者一覧表・外来予約患者一覧・DPCチェックリスト・DPC未入力チェックリスト・DPCコード・患者別入院状況・稼働額明細表・DPCコード・科別入院状況・稼働額明細表・DPCコード別入院日数・退院患者数集計表・科別・DPCコード別入院日数、退院患者数集計表・科別入院日数・退院患者数集計表
2-1-3-6	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	マスタリスト・点数マスタリスト・セットマスタリスト・点数マスタコードブック・病名マスタリスト・変換コードマスタリスト
2-1-3-7	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	予約関連・外来総括票（予約）・外来予約患者一覧・時間枠スケジュールリスト・勤務スケジュールリスト・休日スケジュールリスト・週間スケジュールリスト
2-1-3-8	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	標準帳票として下記帳票が出力可能なこと。

2-1-3-9	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	・科別患者数調べ（日報・月報）・外来実患者数調べ【年齢別・男女別】（月別・当年度累計）・入院実患者数調べ【年齢別・男女別】（月別・当年度累計）・診療行為別集計表【外来】（月別）・診療行為別集計表【入院】（月別）・診療行為別集計表【病棟別】（月別）・診療行為別集計表【合計】（月別）
2-1-3-10	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	データ分析のひな型となる定義ファイルに下記が含まれていること。
2-1-3-11	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	診療稼働額（月報）・入外別・科別・日別稼働額集計表・入外別・科別・診療区分別・診療内容別稼働額集計表・病棟別・日別稼働額集計表・病棟別・診療区分別・診療内容別稼働額集計表・入外別・科別・診療区分別稼働額集計表・病棟別・診療区分別稼働額集計表・病名別・入外別稼働額集計表・病名別・診療区分別稼働額集計表・医師別・診療区分別稼働額集計表・地域別稼働額集計表・診療区分別・診療行為別・日別稼働額集計表
2-1-3-12	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	診療稼働額（年報）・月別・入外別・科別稼働額集計表・月別・病棟別稼働額集計表・月別・診療区分別稼働額集計表・月別・病名別稼働額集計表・月別・医師別稼働額集計表・月別・地域別稼働額集計表・稼働額前年度対比表（外来：科別）・稼働額前年度対比表（外来：診療区分別）・稼働額前年度対比表（外来：医師別）・稼働額前年度対比表（入院：科別）・稼働額前年度対比表（入院：病棟別）・稼働額前年度対比表（入院：診療区分別）・稼働額前年度対比表（入院：医師別）
2-1-3-13	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	診療稼働額（随時）・新・旧稼働額比較（改定前）・新・旧稼働額比較（改定以降）
2-1-3-14	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	診療情報・病名別診療内容集計表・特定診療行為実施患者一覧表（ID順）・特定診療行為実施患者一覧表（科別・ID順）・診療材料利用高集計表・生保患者一覧表・輸血製剤別患者別使用量集計表・薬剤使用量集計表・手術台帳（外来分）・手術件数表（入外別）・手術件数表（科別）・リハビリ件数統計・検査件数集計表・検査件数集計表（科別）・放射線業務集計表・病名未登録チェックリスト
2-1-3-15	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	外来患者数（月報）・科別初診再診別患者数集計表【外来】・科別・年齢別実患者数・延患者数・科別・地区別実患者数・延患者数・時間外区分別受付患者一覧表・救急車来院患者一覧表・科別患者数日報集計表【外来】
2-1-3-16	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	外来患者数（随時）・初診料算定患者一覧表・時間外区分別初診料算定患者一覧（6歳未満）
2-1-3-17	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	外来患者数（年報）年度別・科別患者数集計表【外来】
2-1-3-18	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	入院患者数（月報）・科別延患者数集計表【入院】・病棟別延患者数集計表【入院】・病室別延患者数集計表・年齢別科別実患者数・延患者数・地区別科別実患者数・延患者数・病棟別患者数日報集計表・科別患者数日報集計表【入院】
2-1-3-19	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	入院患者数（随時）・再入院患者一覧（同一暦入院）・90日以上入院患者リスト・転帰区分別退院患者一覧・指定日平均在院日数集計表・特別室使用患者数集計表・入院患者50音順別一覧表・退院患者50音順別一覧表・外泊患者チェックリスト・病室使用状況一覧表・死亡患者一覧・病名別・平均入院日数一覧・新生児入院患者数
2-1-3-20	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	入院患者数（年報）・月別・科別患者数集計表【入院】・月別・病棟別患者数集計表
2-1-3-21	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	収納情報一覧・未収データ一覧・状態区分別請求書一覧表・定期（定時）請求書一覧表・退院請求書一覧表・入金データ一覧・入金データ集計表・指定患者年間入金額集計
2-1-3-22	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	患者情報一覧・新規登録患者一覧・患者登録洗い出しリスト
2-1-3-23	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	保険情報一覧・期限切れ保険一覧・法別登録患者一覧
2-1-3-24	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	受診歴リスト・カルテ追い出しリスト【中央カルテ】：医科・カルテ追い出しリスト【中央カルテ】：歯科・カルテ追い出しリスト【各科カルテ】
2-1-3-25	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	受付会計集計表・受付時間帯別来院患者数集計表・会計時間帯別会計患者数集計表・受付時間帯別院内滞留時間別患者数・会計時間帯別院内滞留時間別患者数
2-1-3-26	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	個人病名リスト・指定病名登録患者洗い出しリスト（病名）・指定病名登録患者洗い出しリスト（病名コード）
2-1-3-27	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	マスター一覧・点数マスター一覧・住所マスター一覧・病名マスター一覧・病名マスター一覧（指定病名）・医師マスター一覧・診療科マスター一覧・診療区分マスター一覧
2-1-3-28	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	ダッシュボードコンテンツを提供すること。
2-1-3-29	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	ダッシュボードコンテンツとして下記が含まれていること。
2-1-3-30	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	日次外来・新来患者数・外来延患者数・未収金額
2-1-3-31	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	日次入院・当日在院数・新入院患者数
2-1-3-32	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	月次外来・新来患者数・外来延患者数・稼働額（外来）
2-1-3-33	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	月次入院・新入院患者数・稼働額（入院）・当月在院患者数・入院延患者数・平均在院日数
2-1-3-34	医事統計業務	コンテンツ	標準提供	月次入外共通・稼働額（入外合計）・手術件数（入外合計）
2-1-4-1	医事統計業務	統合メニュー画面・業務画面	統合メニュー画面	統合化されたメニュー画面から医事統計システムの各運用操作ができること。
2-1-4-2	医事統計業務	統合メニュー画面・業務画面	取込画面	画面から取込処理を実行できること。
2-1-4-3	医事統計業務	統合メニュー画面・業務画面	取込画面	画面から取込処理の実行状況を確認できること。
2-1-4-4	医事統計業務	統合メニュー画面・業務画面	取込画面	画面から取込処理の実行ログを表示できること。
2-1-4-5	医事統計業務	統合メニュー画面・業務画面	帳票出力画面	画面から帳票出力処理を実行できること。
2-1-4-6	医事統計業務	統合メニュー画面・業務画面	帳票出力画面	画面から帳票出力処理の実行状況を確認できること。

2-1-5-1	医事統計業務	その他	監査	各業務画面を起動した日時、端末名、ユーザIDを記録したアクセスログをDBに格納できること。実行した処理名（コンテンツ名）、実行した日時端末の名称、ユーザIDを記録したアクセスログをDBに格納できること。
2-1-5-2	医事統計業務	その他	監査	データ分析ツールを起動した日時、ユーザID、端末名、抽出対象のテーブルおよび列、抽出行数を記録したアクセスログを出力できること。
2-1-5-3	医事統計業務	その他	権限	取込処理、処理、帳票出力処理、各種マスタメンテナンスにおいて、それぞれ参照、実行権限を利用者ごとに設定できること。
3-1-1-1	各種システム連携	オーダーリング連携業務		他部門（電子カルテシステム、オーダーリング）からのデータに対し、コード変換や検査の丸めの処理ができること。
3-1-1-2	各種システム連携	オーダーリング連携業務		外来即入院時に未取込となった外来オーダーを取り込むことができること。
3-1-1-3	各種システム連携	オーダーリング連携業務		長期投与（100日越え）の処方データを受信できること。
3-1-1-4	各種システム連携	オーダーリング連携業務		退院後にオーダーされた入院期間中のオーダー情報を取り込むかどうかの設定ができること。
3-1-2-1	各種システム連携	データ変換処理		コード変換処理を検体（検査材料）と診療行為を対にして行うことができること。
3-1-3-1	各種システム連携	データ累積処理		入院分のオーダー情報を締切時刻まで累積できること。
3-1-3-2	各種システム連携	データ累積処理		外来の検査オーダーを累積し、一日単位のまとめ処理ができること。
3-1-4-1	各種システム連携	分散会計処理		電子カルテシステムからのデータを受信し、点数計算ができること。
3-1-5-1	各種システム連携	変換マスタ登録変更処理		コード変換を行うマスタの登録・変更ができること。
3-1-6-1	各種システム連携	分散シミュレーション		マスタの登録・変更内容をシミュレーションできること。
3-1-7-1	各種システム連携	システム連携		他部門へ患者属性の送信ができること。（患者登録・変更時、入院登録時、診療会計時）
3-1-7-2	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムへ受付情報の送信ができること。
3-1-7-3	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムへ計算済情報の送信ができること。
3-1-7-4	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムから会計情報〔依頼・実施〕の受信ができること。
3-1-7-5	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムから入退院等の移動・給食情報の受信ができること。
3-1-7-6	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムから予約情報の受信ができること。
3-1-7-7	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムからDPC情報の受信ができること。
3-1-7-8	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムから病名情報の受信ができること。
3-1-7-9	各種システム連携	システム連携		電子カルテシステムから症状詳細情報の受信ができること。
3-1-7-10	各種システム連携	システム連携		診察券発行機との連携ができること。
3-1-7-11	各種システム連携	システム連携		再来受付機との連携ができること。
3-1-7-12	各種システム連携	システム連携		カルテ管理システムとの連携ができること。
3-1-7-13	各種システム連携	システム連携		レセプト債権管理システムとの連携ができること。
3-1-7-14	各種システム連携	システム連携		経営支援システムとの連携ができること。・患者情報・稼働額情報
4-1-1-1	債権管理	請求情報管理	総括機能	請求情報の新規作成／内容変更／削除が可能であること。（状態区分が請求可能、保留、保留解除、返戻再請求、返戻、過誤返戻のもの）
4-1-1-2	債権管理	請求情報管理	総括機能	請求情報の内容表示が可能であること。（状態区分が審査増減、過誤増減、復活のもの）
4-1-1-3	債権管理	請求情報管理	総括機能	状態区分の変更は「請求可能、保留、保留解除、返戻再請求、返戻、過誤返戻」に変更可能であること。「審査増減、過誤増減、復活」へは変更不可。
4-1-1-4	債権管理	請求情報管理	総括機能	検索結果にて増減情報の有無が判断可能であること。
4-1-1-5	債権管理	請求情報管理	総括機能	増減機能への連携時、連携先に該当情報が無い場合は新規登録モードで起動が可能であること。
4-1-1-6	債権管理	請求情報管理	総括機能	請求情報（患者毎のレセプトにおける保険、点数等）の削除及び削除済みデータの復活登録が可能であること。
4-1-1-7	債権管理	請求情報管理	総括機能	請求情報検索キーとして以下の情報が使用可能であること。・請求年月（和暦表示、範囲指定）・状態区分・患者番号（単一指定／複数指定（30件まで））・保険者番号（主～公費4）・請求先・診療年月・入外・本家・レセ科・削除フラグ・レセ電例外フラグ・カナ氏名・割合区分・所得区分
4-1-1-8	債権管理	請求情報管理	総括機能	検索結果を100件まで一覧表示可能であること。
4-1-1-9	債権管理	請求情報管理	総括機能	請求情報検索時、患者番号、氏名、カナ氏名、漢字氏名、性別から検索可能であること。
4-1-1-10	債権管理	請求情報管理	総括機能	請求情報の複写が可能であること。（複数選択可能）
4-1-1-11	債権管理	請求情報管理	総括機能	診療報酬請求情報の状態変更履歴保持が可能であること。
4-1-1-12	債権管理	請求情報管理	総括機能	高額療養費において、償還払い、現物給付分の請求金額を画面上に表示が可能であること。
4-1-1-13	債権管理	請求情報管理	総括機能	指定公費分について、保険請求金額を画面上に表示が可能であること。
4-1-1-14	債権管理	請求情報管理	総括機能	地方公費併用時、地方公費のみ及び地方公費以外にて部分的に保留・保留解除、返戻、返戻再請求登録が可能であること。
4-1-1-15	債権管理	請求情報管理	総括機能	保留理由の登録が可能であること。院内審査システム運用時は、院内審査システムと連携が可能であること。

4-1-1-16	債権管理	請求情報管理	総括機能	1枚のレセプトの状態（保留⇒請求⇒返戻⇒査定⇒復活）の顛末がわかるように一覧表示が可能であること。
4-1-1-17	債権管理	請求情報管理	総括機能	レセ科でなく、診療科の表示が可能であること。
4-1-1-18	債権管理	請求情報管理	総括機能	労災の金額情報を医事システムから受信し表示が可能であること。
4-1-1-19	債権管理	請求情報管理	総括機能	診療請求額及び食事請求額は、それぞれの保険（主保険・公費1・公費2・公費3・公費4）ごとに管理が可能であること。
4-1-1-20	債権管理	請求情報管理	総括機能	主保険の内容（診療点数）を公費にコピーできる機能があること。
4-1-1-21	債権管理	請求情報管理	増減機能	増減情報検索キーとして以下の情報が使用可能であること。・増減年月（範囲指定）・状態区分・患者番号・診療年月・入外区分・請求先・レセ科・作成区分・DPC区分
4-1-1-22	債権管理	請求情報管理	増減機能	検索した増減情報を複数選択して詳細表示し、連続して参照・編集することが可能であること。
4-1-1-23	債権管理	請求情報管理	増減機能	増減情報の新規作成／内容変更／削除が可能であること。ただし増減点連絡書から登録したデータは削除できないよう制御すること。
4-1-1-24	債権管理	請求情報管理	増減機能	増減情報を新規作成する際、元となる請求情報を患者番号・請求年月・入外区分・請求先をキーに検索して参照登録することが可能であること。
4-1-1-25	債権管理	請求情報管理	出産育児一時金機能	出産育児一時金情報の新規作成／内容変更／削除が可能であること。（状態区分が請求可能、保留、保留解除、返戻再請求、返戻、過誤返戻のもの）
4-1-1-26	債権管理	請求情報管理	出産育児一時金機能	状態区分変更時には調定用項目（調定年月、算定額合計、調定金額）の更新が可能であること。
4-1-2-1	債権管理	増減分析	再審査請求	増減機能で入力した情報を基に、オンライン請求システムで請求可能な再審査請求データファイルの出力が可能であること。
4-1-2-2	債権管理	増減分析	増減確認リスト	増減情報より、増減情報抽出条件に基づき一覧表作成及びCSV出力が可能であること。また、抽出条件はユーザ側で任意に設定可能であること。
4-1-3-1	債権管理	帳票管理Ⅰ	中間ファイル作成	保留分を格納した保留用中間ファイルも同時に作成可能であること。
4-1-3-2	債権管理	帳票管理Ⅰ	中間ファイル作成	請求に必要な情報のみを集約した一時ファイルの作成が可能であること。（入外／確定・未確定）
4-1-3-3	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	診療報酬請求書レイアウトを標準提供すること。・社保診療報酬請求書（本紙／続紙、入院／外来）・国保診療報酬請求書（本紙／続紙）・後期高齢者診療報酬請求書・労働者災害補償保険診療費請求書（転記用）
4-1-3-4	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	国保診療報酬請求書、社保診療報酬請求書の印刷が可能であること。また、出力形式は、Excel Book形式にて出力可能であること。
4-1-3-5	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	国保診療報酬請求書、社保診療報酬請求書に印字する、印影を登録可能であること。（サイズ調整は設定ファイルにより変更可能）
4-1-3-6	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	DPC分と出来高分の請求書を分けて出力可能であること。（合算集計も可能）
4-1-3-7	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	各種請求書を一括出力可能であること。
4-1-3-8	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	過去に出力した診療報酬請求書を遡って参照、印刷が可能であること。
4-1-3-9	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求書出力	以下の帳票を出力可能であること。・出産育児一時金等代理申請・受取請求書・出産育児一時金等代理申請・受取請求書（専用請求書）集計票
4-1-3-10	債権管理	帳票管理Ⅰ	労災集計表	診療報酬請求情報のうち、労災分データより集計表を印刷可能であること。
4-1-3-11	債権管理	帳票管理Ⅰ	請求額表	診療報酬請求情報のうち、社保、国保分データより、保険請求金額を集計した表を出力可能であること。集計表はExcelでの出力が可能であること。
4-1-3-12	債権管理	帳票管理Ⅰ	保険者別集計表	国保、後期別に保険者別集計表の出力が可能であること。
4-1-4-1	債権管理	帳票管理Ⅱ	確認リスト	診療報酬請求情報より、抽出条件に基づき一覧表の作成及びCSV出力が可能であること。また、抽出条件はユーザ側で任意に設定可能であり、設定した条件内容を保存・複写・削除することが可能であること。
4-1-4-2	債権管理	帳票管理Ⅱ	返戻内訳票	返戻点数、金額の選択が可能であること。
4-1-4-3	債権管理	帳票管理Ⅱ	返戻額表	診療報酬請求情報のうち、社保、国保分データより、保険返戻金額を集計した表を出力可能であること。集計表はExcelでの出力が可能であること。
4-1-4-4	債権管理	帳票管理Ⅱ	確認表	保留、返戻、保留解除、返戻再請求の確認表が出力可能であること。
4-1-4-5	債権管理	帳票管理Ⅱ	入金関連台帳	保険団体・入外別入金予定表及びその明細出力が可能であること。（請求－1次査定－1次返戻－2次査定－2次返戻－入金減＝入金予定額）
4-1-4-6	債権管理	帳票管理Ⅱ	債権管理台帳	以下の帳票が作成可能であること。出力形式は、Excel形式とすること。・未請求整理簿・返戻整理簿・過誤返戻整理簿・審査増減整理簿・過誤増減整理簿・債権発生調整内訳書・債権発生調定内訳書（月別）・診療費管理台帳・債権発生通知書・債権発生・調定内訳明細書・計算カード区分用紙
4-1-5-1	債権管理	連携管理	レセプト情報受信	医事会計システムのレセプトデータを元に、請求対象の診療報酬請求情報を受信可能であること。
4-1-5-2	債権管理	連携管理	レセプト情報受信	受信データは全件だけでなく、患者ID指定も可能であること。また、受信する／しないを任意に指定できること。
4-1-5-3	債権管理	連携管理	レセプト情報受信	院内審査システムとの連携が可能であること。
4-1-5-4	債権管理	連携管理	レセプト情報受信	データ受信パラメータとして、以下の条件を選択可能であること。・入院/外来・医科/歯科/労災/自賠/公害・社保/国保/その他
4-1-5-5	債権管理	連携管理	レセプト情報受信	医事システムの点数集計ファイル作成状況が一覧で表示可能であること。作成状況表示として以下の項目が表示されること・点数集計ファイル名・端末名（患者ID指定時のみ）・診療年月・作成日・ファイル容量
4-1-5-6	債権管理	連携管理	レセプト情報受信	異なる請求年月点数集計ファイルを選択した場合、受信できないようエラーメッセージを表示し、受信不可とすることが可能であること。
4-1-5-7	債権管理	連携管理	返戻通知反映	返戻通知ファイルより請求情報への返戻状態の反映が可能であること。
4-1-5-8	債権管理	連携管理	返戻再請求反映	返戻再請求ファイルより請求情報への返戻再請求状態の反映が可能であること。
4-1-5-9	債権管理	連携管理	増減点連絡書受信	増減点連絡書CSVの受信が可能であること。
4-1-5-10	債権管理	連携管理	増減点連絡書受信	合致する請求情報がある場合は、請求情報テーブルの更新が可能であること。（状態区分、増減年月、調定年月）
4-1-6-1	債権管理	システム管理	確定処理	当月請求した診療報酬請求情報の確定登録、取消が可能であること。
4-1-6-2	債権管理	システム管理	固有マスタメンテ	以下の情報について、顧客操作、またはシステム管理者の設定変更により修正が可能であること。地区マスタ労働基準監督署マスタ債権返戻事由マスタ債権増減事由マスタ

4-1-7-1	債権管理	ツール	レセ電チェックツール	レセプト電算システムとのデータ比較のため、レセプト種別ごとにデータ集計、及び一覧表を出力可能なこと。また、患者毎の明細比較が可能であること。
4-1-7-2	債権管理	ツール	レセ電チェックツール	集計結果はExcelへの出力が可能であること。
4-1-7-3	債権管理	ツール	レセ電チェックツール	集計対象の状態区分は、入外別に設定が可能であること。
4-1-7-4	債権管理	ツール	レセ電チェックツール	レセプト種別のソート順を画面上で変更もしくはマスタで設定が可能であること。
4-1-7-5	債権管理	ツール	データ抽出	システム内で保持する診療報酬請求情報、増減情報について、一定の予約語とSQL文を組み合わせ、CSVデータ抽出が可能であること。
4-1-7-6	債権管理	ツール	金額再計算	増減情報の再計算が可能であること。
4-1-7-7	債権管理	ツール	金額再計算	対象請求テーブルを単一、または複数指定して一括で金額再計算処理が可能であること。
4-1-7-8	債権管理	ツール	金額再計算	画面上で選択された条件に従って金額再計算処理が可能であること。
4-1-7-9	債権管理	ツール	マスタ再設定	画面上で選択された条件に従ってマスタ再設定処理が可能であること。
4-1-7-10	債権管理	ツール	保留一括変更	複数条件を同時に選択可能であること。
4-1-7-11	債権管理	ツール	保留一括変更	実行対象請求年月を指定可能であること。
4-1-7-12	債権管理	ツール	検索ツール	任意の抽出条件および、出力書式にてExcel Book ファイルへのデータ出力を行うことが可能であること。また、抽出条件はユーザ側で任意に設定可能であり、設定した条件内容を保存・複写・削除することが可能であること。
4-1-7-13	債権管理	ツール	労災レセ電チェックツール	労災レセプトにおいて、レセプト電算システムとのデータ比較のため、データ集計、及び一覧表を出力可能なこと。また、患者毎の明細出力が可能であること。
4-1-7-14	債権管理	ツール	労災レセ電チェックツール	労災レセプトにおいて、集計結果はExcelへの出力が可能であること。
4-1-7-15	債権管理	ツール	労災レセ電チェックツール	労災レセプトにおいて、集計対象の状態区分は、入外別に設定が可能であること。
4-1-7-16	債権管理	ツール	レセプトチェックリスト	特定の請求年月内の請求情報に対し、以下の項目に該当するかのチェックを行い、該当する請求情報のリスト出力が可能であること。 ・レセ科コード不当・実日数0日・食事回数0回・地方公費受給者番号無・三者併用以上かつ分点・請求点数マイナス・主保険点数≠地方公費点数・診区合計点数不一致（診区版のみ） ・保険請求金額不一致・保険請求金額マイナス
5-1-1-1	自動再来受付機能	ハード		制御装置、表示装置、サーマルプリンタ、カード読み取り装置等を内蔵した一体型装置であること。
5-1-1-2	自動再来受付機能	ハード		施錠によりいたずらされない構造になっていること。
5-1-1-3	自動再来受付機能	ハード		卓上設置が可能なモデルを有すること。
5-1-1-4	自動再来受付機能	ハード		車椅子に乗ったまま操作が可能なこと。
5-1-1-5	自動再来受付機能	ハード		覗き見を防止する仕組みを有していること。
5-1-1-6	自動再来受付機能	ハード		必要に応じて物置き台を取り付けることができること。
5-1-1-7	自動再来受付機能	ハード		必要に応じて無停電電源装置（UPS）を組み込むことができること。
5-1-1-8	自動再来受付機能	ハード		ディスプレイは15インチ以上のTFTタッチスクリーンであること。
5-1-1-9	自動再来受付機能	ハード		ディスプレイはXGA（1024×768ドット）以上で1677万色以上表示可能であること。
5-1-1-10	自動再来受付機能	ハード		ディスプレイは抵抗膜方式タッチパネルを搭載しており、手袋装着時でも操作できること。
5-1-1-11	自動再来受付機能	ハード		サーマルプリンタを内蔵しており受付票を発行できること。
5-1-1-12	自動再来受付機能	ハード		必要に応じてサーマルプリンタの代わりにレーザープリンタを選択することができること、A4用紙で受付票を発行できること。
5-1-1-13	自動再来受付機能	ハード		カード読み取り装置を内蔵しており診察券の磁気情報（JIS2型）を読み取れること。
5-1-1-14	自動再来受付機能	ハード		対人センサーを内蔵しており利用者の有無を判断できること。
5-1-1-15	自動再来受付機能	ハード		カード挿入口と用紙排出口にランプ点灯機能を有しており、利用者の操作をガイドできること。
5-1-1-16	自動再来受付機能	ハード		音声による操作をガイドする機能を有していること。
5-1-1-17	自動再来受付機能	ハード		ストレス無く利用できるだけの応答速度を満たすCPUとメモリを有していること。
5-1-1-18	自動再来受付機能	ハード		100BASE-TXのLANに接続できるインタフェースを備えていること。
5-1-1-19	自動再来受付機能	ハード		タイマーを内蔵しており自動で起動/終了できること。
5-1-1-20	自動再来受付機能	ハード		タイマーはカレンダーイメージの画面から設定でき、稼働後20年以上先までの国民の休日に対応していること。
5-1-2-1	自動再来受付機能	ソフト		医事会計システムの再来受付業務と同等の受付機能を有し、受付番号の管理を共有すること。
5-1-2-2	自動再来受付機能	ソフト		医事会計システムの科歴に基づいて表示する（選択可能な）科を調整できること。
5-1-2-3	自動再来受付機能	ソフト		医事会計システムの入院情報をチェックし、入院中の場合にエラー画面やワーニング画面を表示できること。
5-1-2-4	自動再来受付機能	ソフト		医事会計システムの保険情報をチェックし、有効は保険が無い場合にエラー画面やワーニング画面を表示できること。

5-1-2-5	自動再来受付機能	ソフト		医事会計システムの保険情報をチェックし、保険証の確認状態を元にエラー画面やワーニング画面を表示できること。
5-1-2-6	自動再来受付機能	ソフト		受付時に医事会計システムの受付情報を更新し、受付済みのチェックも行えること。
5-1-2-7	自動再来受付機能	ソフト		科、内容を選択することが可能なこと。
5-1-2-8	自動再来受付機能	ソフト		科、内容の表示スケジュールを設定することが可能なこと。
5-1-2-9	自動再来受付機能	ソフト		一回の受付で最大6科まで処理可能なこと。
5-1-2-10	自動再来受付機能	ソフト		受診可能な科は最大98科まで表示可能なこと。
5-1-2-11	自動再来受付機能	ソフト		受付情報の更新とともに外来総括票（外来基本伝票）の出力が可能なこと。
5-1-2-12	自動再来受付機能	ソフト		受付済み、予約済みがわかるようにボタンに受付状況表示ができること。
5-1-2-13	自動再来受付機能	ソフト		各画面毎に音声ガイダンスの発声が可能なこと。また、音声は独自のものを組み込めること。
5-1-2-14	自動再来受付機能	ソフト		受付票には受付日時、患者番号、カナ氏名、氏名、受付情報、ワーニングメッセージ、任意の固定文言を印字可能なこと。
5-1-2-15	自動再来受付機能	ソフト		受付票には患者番号と受付番号のバーコードをそれぞれ印字可能なこと。
5-1-2-16	自動再来受付機能	ソフト		受付の開始、休止、終了等の運用時間を設定できるメンテナンス機能を有すること
5-1-2-17	自動再来受付機能	ソフト		予約のみ受付可能な任意の時間帯を設定できること。また、この時間帯は予約の無い利用者にはエラー画面を表示できること。
5-1-2-18	自動再来受付機能	ソフト		用紙切れ、ネットワークトラブルなどの障害を検知し、任意の基幹クライアントに通知するオプションを有すること。
5-1-2-19	自動再来受付機能	ソフト		医事会計システムとの時刻補正機能を有すること。
6-1-1-1	収納POSレジシステム	入金、返金処理		請求書に印字されたバーコードや診察券から患者情報を読み取ることで、容易に請求金を表示し、入金が可能であること。また領収書の発行ができること。
6-1-1-2	収納POSレジシステム	入金、返金処理		入金処理時に手近なレーザプリンタに対して領収書および診療明細書の発行ができること。
6-1-1-3	収納POSレジシステム	入金、返金処理		レジ入金情報と医事会計システムの収納情報とのリアルタイム連携が可能であること。
6-1-1-4	収納POSレジシステム	入金、返金処理		一度に30枚までの請求書を入金することができること。
6-1-1-5	収納POSレジシステム	入金、返金処理		開局からレジ締めまでの現金集計処理が容易に行え、科別の入外・科目別に精算レポートを出力することができること。
6-1-1-6	収納POSレジシステム	入金、返金処理		一部入金（部分入金）が可能であること。またその際、レジから実施結果のレシートを出力できること。
6-1-1-7	収納POSレジシステム	入金、返金処理		一部入金済みの請求書に対しても、現在の未収金額が表示でき、全額または一部入金処理ができること。またその際、レジから実施結果のレシートを出力すること。
6-1-1-8	収納POSレジシステム	入金、返金処理		預かり金額として入力した値が請求額よりも小さい場合、一部入金かどうかの確認チェックの機能を有すること。
6-1-1-9	収納POSレジシステム	入金、返金処理		入金金額に応じ、つり銭が自動的に放出されること。（自動釣銭機を接続した場合）
6-1-1-10	収納POSレジシステム	入金、返金処理		他のシステムで操作中の患者のデータに対しては、入金処理を行なうことができないよう制限されること。
6-1-1-11	収納POSレジシステム	入金、返金処理		既に入金処理済（完納済）の伝票に対しては、入金できないことが、警告音とメッセージでアナウンスできること。
6-1-1-12	収納POSレジシステム	入金、返金処理		医事システムに存在しない患者ID、伝票番号に対しては、処理できないことをエラー音とメッセージでアナウンスできること。
6-1-1-13	収納POSレジシステム	入金、返金処理		返金伝票に対して、返金処理が実施できること
6-1-1-14	収納POSレジシステム	入金、返金処理		既に入金済（完納済）の伝票に対して、返金または差替処理が実施できること。
6-1-1-15	収納POSレジシステム	入金、返金処理		入金の請求書と返金の請求書を一度の処理で差額分の入金または返金処理として処理することができること。
6-1-1-16	収納POSレジシステム	入金、返金処理		担当者コードを入力することにより、POSレジの処理担当者を判断することができること（画面に担当者名を表示）。
6-1-1-17	収納POSレジシステム	入金、返金処理		入金行為を行なった際、自動的に医事会計システムの収納情報の更新を行なうことができること。
6-1-1-18	収納POSレジシステム	入金、返金処理		カスタマディスプレイにより、患者へ判りやすい金額提示（請求金額、預かり金額、お釣の表示など）が可能であること。
6-1-2-1	収納POSレジシステム	医業収益以外での入金、返金管理		任意の項目をマスタ登録することができ、その項目に対して入金および出金を行うことができること。
6-1-2-2	収納POSレジシステム	医業収益以外での入金、返金管理		マスタ登録された任意の項目に対しての入金処理および出金処理において、結果をレシートにて出力できること。
6-1-2-3	収納POSレジシステム	医業収益以外での入金、返金管理		通常の請求書とマスタ登録された任意の項目を同時に処理することができること。
6-1-3-1	収納POSレジシステム	現金、情報管理		業務開始時につり銭として準備した金額を登録できること。
6-1-3-2	収納POSレジシステム	現金、情報管理		POSレジ運用中において、その時点までの現金との突合せができること。
6-1-3-3	収納POSレジシステム	現金、情報管理		1日のPOSレジ運用完了時に精算処理を行い、それまでの現金との突合せ状態や入金／出金状態を確認できること。

6-1-3-4	収納POSレジシステム	現金、情報管理		POSレジ上での動作は全てジャーナルデータとして保存できること。また、画面上でもその内容をいつでも参照できること。
6-1-4-1	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		ハードウェアはレジ専用機で動作可能であること。
6-1-4-2	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		タッチスキャナーにより、バーコードを読み取ることができること。
6-1-4-3	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		磁気カードリーダーにより、診察券の患者IDを読み取ることができること。
6-1-4-4	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		釣銭機、釣札機を接続し、お釣の排出が自動でできること。
6-1-4-5	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		各POSレジの情報を別途帳票（取引伝票明細一覧）として、端末から出力できること。
6-1-4-6	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		患者からの預かり金を直接釣銭機、釣札機に投入することにより、自動的に預かり金額を計測することができ、また、その結果を画面に反映させることができること。
6-1-4-7	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		一般的なCAT端末（JET形式、INFOX形式）とPOSレジを連携することで、クレジットでの入金処理ができること。また、クレジットで入金した結果を医事会計システムへ反映することができること。
6-1-4-8	収納POSレジシステム	ハード関連、その他		POSレジで入金した情報を元に、日計表の出力ができること。
9-1-2-1	レセプトチェック機能	基本機能	チェック結果の履歴保持	チェック結果は履歴保持され、過去のチェック結果のリスト再出力が容易にできること。
9-1-3-1	レセプトチェック機能	基本機能	複数端末間でのマスタ共有	ユーザ独自で設定した各種設定項目やチェック用マスタは、ネットワークを介し、複数の端末間で同期をとることができること。
9-1-4-1	レセプトチェック機能	基本機能	業務進行状況照会	レセプトのデータ読み込み、レセプトの各種チェック、リスト出力のそれぞれの進行状況（処理中・終了）を画面表示できること。
9-2-1-1	レセプトチェック機能	共通チェック	全体共通チェック	外字記録の不可チェックができること。
9-2-1-2	レセプトチェック機能	共通チェック	フォーマットチェック	「オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様」に基づき、情報表記仕様（ファイル構成、レコード形式等）のチェックができること。
9-2-1-3	レセプトチェック機能	共通チェック	フォーマットチェック	「オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様」に基づき、各種レコードの記録要領（項目、モード、最大バイト、項目形式、記録内容）のチェックができること。
9-2-1-4	レセプトチェック機能	共通チェック	保険者番号のチェック	保険者番号の登録有無とその有効期間（開始日～廃止日）のチェックができること。
9-2-2-1	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	資格欄のチェック	診療年月のチェックができること。
9-2-2-2	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	資格欄のチェック	氏名、男女区分、生年月日のチェックができること。
9-2-2-3	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	資格欄のチェック	保険者番号、市町村番号、公費負担者番号のチェックができること。
9-2-2-4	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	資格欄のチェック	給付割合、特記事項等のチェックができること。
9-2-2-5	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	資格欄のチェック	診療実日数の記録漏れチェックができること。また、チェック機能を有効／無効に設定ができること。
9-2-2-6	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	傷病名欄のチェック	傷病名コード、修飾語コード、未コード化傷病名の病名漏れ等のチェックができること。
9-2-2-7	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	傷病名欄のチェック	転帰区分のチェックができること。
9-2-2-8	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	傷病名欄のチェック	主傷病の存在チェックができること。また、チェック機能を有効／無効に設定ができること。
9-2-2-9	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	傷病名欄のチェック	重複する病名のチェックができること。また、チェック機能を有効／無効に設定ができること。
9-2-2-10	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	期限切れコード、入院・外来専用コード、病院・診療所コード等のチェックができること。
9-2-2-11	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	初診料と診療年月、診療開始日、転帰（治ゆ）の整合性チェックができること。
9-2-2-12	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	初診料と休日加算および休日加算の算定日（暦の休日）のチェックができること。
9-2-2-13	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	初診回数と再診回数（または外来診療料回数）と診療実日数の整合性チェックができること。
9-2-2-14	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	暦日を超過する診療実日数のチェックができること。
9-2-2-15	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	入院基本料と特定入院料の合計回数と診療実日数とのチェックができること。
9-2-2-16	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	投薬と麻毒加算、薬剤と生物学的製剤加算、医薬品のチェックができること。
9-2-2-17	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	各種診療行為に対する注加算、年齢加算、時間外加算等の妥当性のチェックができること。
9-2-2-18	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	摘要欄のチェック	診療識別に従った点数計算のチェックができること。
9-2-2-19	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	合計欄のチェック	合計点数（請求）と縦計（再計算）との間に差異が生じた場合は縦計を表示できること。
9-2-2-20	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	疾患の適応性チェック	医薬品と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-21	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	疾患の適応性チェック	基本診療料と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-22	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	疾患の適応性チェック	医学管理等と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-23	レセプトチェック機能	医科レセプトのチェック	疾患の適応性チェック	在宅医療と疾患の適応性チェックができること。

9-2-2-24	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	検査と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-25	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	投薬と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-26	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	注射と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-27	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	リハビリと疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-28	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	精神科専門と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-29	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	処置と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-30	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	手術と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-31	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	麻酔と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-32	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	放射線治療と適応性チェックができること。
9-2-2-33	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	画像と疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-34	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医薬品と診療行為の適応性チェックができること。
9-2-2-35	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	重複検査の可否（同一月に算定できない複数 or 複数回の検査）チェックができること。
9-2-2-36	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	重複処置の可否（同一月に算定できない複数の処置）チェックができること。
9-2-2-37	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	初診料の誤請求チェックができること。
9-2-2-38	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	「疾患の適応性チェック」は チェック機能を入院／外来別に有効／無効の設定ができること。
9-2-2-39	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	「疾患の適応性チェック」でワープロ病名（未コード化傷病名）が使用された場合、文字列が新傷病名マスタに記載されている傷病名と完全に一致すれば、疾患の適応性チェックができること。
9-2-2-40	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	心身症と疾患の適応性のチェックおよび接尾語としての「(心身症)」の有無のチェックができること。
9-2-2-41	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医薬品と病名の禁忌病名チェックができること。
9-2-2-42	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	傷病名の廃止日と診療月とのチェックができること。また、チェック機能を有効／無効に設定ができること。
9-2-2-43	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医薬品の廃止日と診療月とのチェックができること。
9-2-2-44	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医薬品の経過措置日と診療月とのチェックができること。
9-2-2-45	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	診療行為の廃止日と診療月とのチェックができること。
9-2-2-46	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	診療行為の内外適応（入院専用と外来専用の診療行為の背反記録）のチェックができること。
9-2-2-47	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	病名漏れ（不適応の場合、当該病名なしと見なす）の場合、警告ができること。
9-2-2-48	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	特定の医薬品や診療行為 等の間に依存関係が成立する場合、その摘要にて警告抑止ができること。
9-2-2-49	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	病院独自の 設定チェック	以下の要件を満たすチェック内容（複数条件の組合せ設定が可能）を病院が独自に設定できる仕組みを有すること。
9-2-2-50	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	病院独自の 設定チェック	取り漏れ、禁忌に対するチェック設定ができること。
9-2-2-51	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	病院独自の 設定チェック	設定内容（複数条件の組合せ設定が可能）に該当する患者の抽出ができること。
9-2-2-52	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	病院独自の 設定チェック	以下の項目が設定でき、レセプト形式でイメージし易いチェック設定画面であること。 ・診療科・男／女・傷病名（コード／漢字） ・修飾語・診療行為・医薬品・特定器材・コメント・回数
9-2-2-53	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	病院独自の 設定チェック	9,000通り以上のチェック設定を保持できること。
9-2-2-54	レセプト チェック機能	医科レセプト のチェック	病院独自の 設定チェック	病院が任意に設定した警告メッセージをそのまま出力できること。
9-2-3-1	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	DPCレセプトの 識別及び条件 のチェック	レセプト総括区分コードに基づき、DPCレセプトと総括レセプト、総括対象DPCレセプトおよび総括対象医科入院レセプトのチェックができること。
9-2-3-2	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	DPCレセプトの 識別及び条件 のチェック	DPCレセプトおよび総括対象DPCレセプトの場合、出来高算定が不可となる診療行為のチェックができること。
9-2-3-3	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	DPCレセプトの 識別及び条件 のチェック	総括対象医科入院レセプトの場合、DPC算定となる診療行為のチェックができること。
9-2-3-4	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	DPCレセプトの 識別及び条件 のチェック	総括対象医科入院レセプトの場合、診療開始日の記録漏れチェックができること。
9-2-3-5	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	診療年月のチェックができること。
9-2-3-6	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	氏名、男女区分、生年月日のチェックができること。
9-2-3-7	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	保険者番号、市町村番号、公費負担者番号のチェックができること。

9-2-3-8	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	給付割合、特記事項等のチェックができること。
9-2-3-9	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	診療実日数の記録漏れチェックができること。また、チェック機能を有効/無効に設定ができること。
9-2-3-10	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	総括レセプトの場合、上記の記録内容に対する総括レセプトと明細レセプト(総括対象DPCレセプトと総括対象医科入院レセプト)の整合チェックができること。
9-2-3-11	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	資格欄の チェック	総括レセプトの場合、総括レセプトに記録されている診療実日数と明細レセプト(総括対象DPCレセプトと総括対象医科入院レセプト)に記録されている診療実日数の総和との比較チェックができること。
9-2-3-12	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診断群分類欄 のチェック	診断群分類番号のチェックができること。
9-2-3-13	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診断群分類欄 のチェック	DPC転帰区分のチェックができること。
9-2-3-14	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	傷病名欄の チェック	傷病名コード、修飾語コード、未コード化傷病名の病名漏れ等のチェックができること。
9-2-3-15	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	傷病名欄の チェック	傷病名に対応するICD10コードのチェックができること。
9-2-3-16	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	傷病名欄の チェック	診断群分類欄に副傷病名ありと記録されていた場合、副傷病名欄の記録漏れチェックができること。
9-2-3-17	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	病院独自の設 定チェック	以下の要件を満たすチェック内容(複数条件の組み合わせが可能)を病院が独自に設定できる仕組みを有すること。
9-2-3-18	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	病院独自の設 定チェック	取り漏れ、禁忌に対するチェック設定ができること。
9-2-3-19	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	病院独自の設 定チェック	設定内容(複数条件の組合せ設定が可能)に該当する患者の抽出ができること。
9-2-3-20	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	病院独自の設 定チェック	以下の項目が設定でき、レセプト形式でイメージし易いチェック設定画面であること。 ・診療科・男/女・年齢・診療行為・医薬品・特定器材・コメント・回数
9-2-3-21	レセプト チェック機能			
9-2-3-22	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	病院独自の設 定チェック	9000通り以上のチェック設定を保持できること。
9-2-3-23	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	病院独自の設 定チェック	警告メッセージは病院が任意に設定したものをそのまま出力ができること。
9-2-3-24	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	今回入院欄 のチェック	今回入院年月日と今回退院年月日のチェックができること。
9-2-3-25	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	傷病情報欄の チェック	傷病名(主病名と入院の契機となった傷病名)の記録漏れチェックができること。
9-2-3-26	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	傷病情報欄の チェック	DPC転帰区分が外死亡だった場合、死因漏れのチェックができること。
9-2-3-27	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	入院退院情報欄 のチェック	転科の有無チェックができること。
9-2-3-28	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	入院退院情報欄 のチェック	予定・緊急入院区分コードのチェックができること。
9-2-3-29	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	入院退院情報欄 のチェック	前回退院年月日のチェック並びに今回入院年月日との整合性チェックができること。
9-2-3-30	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診療関連情報 欄のチェック	入院時年齢の適合チェックができること。
9-2-3-31	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診療関連情報 欄のチェック	出生時体重の適合チェックができること。
9-2-3-32	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診療関連情報 欄のチェック	診療行為コードの有無チェックができること。
9-2-3-33	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診療関連情報 欄のチェック	区分番号または診療区分コードいずれかの記録チェックができること。
9-2-3-34	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診療関連情報 欄のチェック	診療行為コード、区分番号、診療区分コード、診療名称の組合せ記録の適合チェックができること。
9-2-3-35	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	診療関連情報 欄のチェック	実施(予定)年月日が入院期間内であるかの整合性チェックができること。
9-2-3-36	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	外泊等コードのチェックができること。
9-2-3-37	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	請求調整区分コードのチェックができること。
9-2-3-38	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	負担区分コードのチェックができること。
9-2-3-39	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	入院期間区分コードのチェックができること。
9-2-3-40	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	診断群分類区分および入院期間区分より、入院期間区分別点数の整合性チェックができること。
9-2-3-41	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	外泊日数や入院日数等より、入院期間区分別入院日数の整合性チェックができること。
9-2-3-42	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	包括小計点数(包括小計点数合算)、包括評価点数、調整点数(今月包括合計点数)のチェックができること。
9-2-3-43	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	包括評価部分 欄のチェック	保険者番号等の変更または負担区分の変更があった場合、変更年月日のチェックができること。
9-2-3-44	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	入力データの合計点数と縦計(再計算)のチェックができること。
9-2-3-45	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	総括レセプトの場合、総括レセプトに記録されている合計点数と明細レセプト(総括対象DPCレセプトと総括対象医科入院レセプト)に記録されている合計点数の総和との比較チェックができること。
9-2-3-46	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	合計点数(請求)と縦計(再計算)との間に差異が生じた場合は縦計を表示できること。
9-2-3-47	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	食事回数の上限回数チェックができること。

9-2-3-48	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	総括レセプトの場合、総括レセプトに記録されている食事回数と明細レセプト(総括対象DPCレセプトと総括対象医科入院レセプト)に記録されている食事回数の総和との比較チェックができること。
9-2-3-49	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	標準負担額のチェックができること。
9-2-3-50	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	合計欄の チェック	総括レセプトの場合、明細レセプト(総括対象DPCレセプトと総括対象医科入院レセプト)に一部負担金が記録されていた際の不可チェックができること。
9-2-3-51	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	疾患の適応性 のチェック	DPCレセプトおよび総括対象DPCレセプトの場合、出来高部分については、医科レセプトと同様の「疾患の適応性チェック」ができること。
9-2-3-52	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	疾患の適応性 のチェック	総括対象医科入院レセプトの場合、医科レセプトと同様の「疾患の適応性チェック」ができること。
9-2-3-53	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	DPCコーディン グデータに対 するチェック	DPCレセプトとコーディングデータの存在チェックができること。
9-2-3-54	レセプト チェック機能	DPCレセプトの チェック	DPCコーディン グデータに対 する病院独自 の設定チェッ ク	コーディングデータとDPCレセプトの「診療科」、「診断群分類」、「傷病名」、「摘要欄」のチェック設定ができること。
9-2-4-1	レセプト チェック機能	DPC調査ファイ ル(D,E,F、様 式1)の チェック	EF・様式1 整 合チェック	EおよびFファイル(もしくはEF統合ファイル)と様式1において整合が取れているかチェックすることができること。
9-2-4-2	レセプト チェック機能	DPC調査ファイ ル(D,E,F、様 式1)の チェック	リスト出力処 理	EF・様式1整合チェックでのエラー結果を出力することができること。
9-2-4-3	レセプト チェック機能	DPC調査ファイ ル(D,E,F、様 式1)の チェック	リスト出力処 理	帳票出力時に、出力したいエラーコードの選定や「診療科」、「データ識別番号」、「入院年月日」を指定することができること。
9-3-1-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能	フォーマット チェック結果 帳票	フォーマットチェックで警告となったデータを読み込結果リストとして出力ができること。
9-3-1-2	レセプト チェック機能	帳票出力機能	レセプト チェック結果 帳票出力条件 指定	入院と外来、社保と国保等を条件とした区分出力ができること。
9-3-1-3	レセプト チェック機能	帳票出力機能	レセプト チェック結果 帳票出力条件 指定	患者番号や医師コード等を選択条件とした特定データでの再出力ができること。
9-3-3-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能	ワープロ病名 の識別	ワープロ病名の場合は、ワープロ病名を識別する為に病名頭部に*を付与できること。
9-3-4-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能	症状詳記の出 力	レセプト内に症状詳記の情報が記録されていた場合には、その情報を「患者別レセプトイメージ」形式で出力ができること。
9-3-5-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能	算定日情報の 出力	読込んだレセプトの算定日情報をカレンダー形式で表示できること。
9-4-1-1	レセプト チェック機能	マスタメンテ ナンス機能	疾患マスタの メンテナンス	以下について適応疾患の追加/削除ができること。・薬品・基本診療料・医学管理等・在宅医療・検査・画像診断・投薬・注射・リハビリ・精神科専門・処置・手術・麻酔・放射線治療
9-4-1-2	レセプト チェック機能	マスタメンテ ナンス機能	疾患マスタの メンテナンス	以下の変更ができること。・病名に対する部位の追加/削除・薬品に対する禁忌病名の追加/削除・薬品に対する併用禁忌薬品の追加/削除
9-4-1-3	レセプト チェック機能	マスタメンテ ナンス機能	疾患マスタの メンテナンス	薬品については用量、投与日数の変更ができること。
9-4-2-1	レセプト チェック機能	マスタメンテ ナンス機能	疾患マスタの メンテナンス ファイルの管 理(出力・読み 込み)	疾患マスタに病院が独自で設定した内容をCSVファイルで抽出できること。
9-4-3-1	レセプト チェック機能	マスタメンテ ナンス機能	名称マスタの メンテナンス	医師名、病棟名、診療科名の取込みがCSVファイルからできること。
9-5-1-1	レセプト チェック機能	辞書機能	チェックマスタ 検索適応疾 患の検索	薬品、基本診療料、医学管理等、在宅医療、検査、画像診断、投薬、注射、リハビリ、精神科専門、処置、手術、麻酔、放射線治療に対して、それぞれ名称またはコードでの検索・参照・印刷が以下のようにできること。
9-5-1-2	レセプト チェック機能	辞書機能	チェックマスタ 検索禁忌情 報の検索	薬品名又は薬品コードから検索して、禁忌病名となる一覧を表示できること。また、一覧の情報を印刷することもできること。
9-5-1-3	レセプト チェック機能	辞書機能	チェックマスタ 検索禁忌情 報の検索	薬品名又は薬品コードから検索して、併用禁忌となる薬品一覧を表示できること。また、一覧の情報を印刷することもできること。
9-5-2-1	レセプト チェック機能	辞書機能	ワープロ病名 変換	上記の候補リストには、患者番号、患者氏名、候補傷病名コード(修飾語コードを含む)、候補傷病名(修飾語を含む)が出力できること。
9-5-2-2	レセプト チェック機能	辞書機能	ワープロ病名 変換	上記の候補リストは、患者名および疾患名でのソート出力ができること。
9-5-3-1	レセプト チェック機能	辞書機能	厚生労働省コード 参照	厚生労働省が提供する6種の基本マスタ(診療行為、医薬品、特定器材、傷病名、修飾語、コメント)の辞書機能を有し、廃止日や経過処置日の確認ができること。
9-5-4-1	レセプト チェック機能	辞書機能	DPC樹形図表示	検索した診断群分類の関連情報や点数情報を確認することができること。
9-5-4-2	レセプト チェック機能	辞書機能	DPC樹形図表示	複数の診断群分類番号の入院日数毎の点数や合計包括点数を比較することができること。

9-5-5-1	レセプト チェック機能	辞書機能	出来高・包括 比較	出来高算定の場合と包括算定の場合で点数を比較することができること。また比較結果をCSVファイルで出力することができること。
9-5-5-2	レセプト チェック機能	辞書機能	出来高・包括 比較	入院期間中の診療内容を一覧で確認できること。
9-5-6-1	レセプト チェック機能	統計機能	レセプト チェック結果 の出力	レセプトチェックの結果である点検リストのデータをCSVファイルに変換して出力ができること。
9-5-7-1	レセプト チェック機能	統計機能	疾患警告の集 計	疾患チェックで警告を発した診療行為や医薬品のデータを一覧表形式での印刷やCSVファイルとして出力ができること。
9-5-8-1	レセプト チェック機能	統計機能	チェック結果 統計機能	点検業務にてチェックした結果を診療科別で集計し、CSVファイルとして出力できること。
9-5-10-1	レセプト チェック機能	統計機能	レセプト統計 機能 (DPC)	診断群分類番号をキーにして、「診療科」、「医師」、「病棟」別に集計し、CSVファイルとして出力できること。
9-5-10-2	レセプト チェック機能	統計機能	レセプト統計 機能 (DPC)	診断群分類番号の内「MDC」、「手術有無」、「手術2」をキーにして、「診療科」、「医師」、「病棟」別に集計し、CSVファイルとして出力できること。
9-5-10-3	レセプト チェック機能	統計機能	レセプト統計 機能 (DPC)	手術コードをキーにして、「医師」別に集計できること。
9-6-2-1	レセプト チェック機能	基本機能 (歯 科)	チェック結果 の履歴保持	チェック結果は履歴保持され、過去のチェック結果のリスト再出力が容易にできること。
9-6-3-1	レセプト チェック機能	基本機能 (歯 科)	複数端末間 でのマスタ共有	ユーザ独自で設定した各種設定項目やチェック用マスタは、ネットワークを介し、複数の端末間で同期をとることができること。
9-6-4-1	レセプト チェック機能	基本機能 (歯 科)	業務進行状況 照会	レセプトのデータ読み、レセプトの各種チェック、リスト出力のそれぞれの進行状況 (処理中・終了) を画面表示できること。
9-7-1-1	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	全体共通 チェック	外字記録の不可チェックができること。
9-7-1-2	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	フォーマット チェック	「オンラインまたは光ディスク等による請求に係る記録条件仕様」に基づき、情報表記仕様 (ファイル構成、レコード形式等) のチェックができること。
9-7-1-3	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	フォーマット チェック	「オンラインまたは光ディスク等による請求に係る記録条件仕様」に基づき、各種レコードの記録要領 (項目、モード、最大バイト、項目形式、記録内容) のチェックができること。
9-7-1-4	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	フォーマット チェック	情報表記仕様 (ファイル構成、レコード形式等) のチェックができること。
9-7-1-5	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	フォーマット チェック	各種レコードの記録要領 (項目、モード、最大バイト、項目形式、記録内容) のチェックができること。
9-7-1-6	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	保険者番号の チェック	保険者番号の登録有無とその有効期間 (開始日～廃止日) のチェックができること。
9-7-1-7	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	資格欄の チェック	診療年月のチェックができること。
9-7-1-8	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	資格欄の チェック	氏名、男女区分、生年月日のチェックができること。
9-7-1-9	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	資格欄の チェック	保険者番号、市町村番号、公費負担者番号のチェックができること。
9-7-1-10	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	資格欄の チェック	給付割合、特記事項等のチェックができること。
9-7-1-11	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	資格欄の チェック	診療実日数の記録漏れチェックができること。また、チェック機能を有効/無効に設定ができること。
9-7-1-12	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	傷病名欄の チェック	診療開始日並びにその記録順序 (古い順) のチェックができること。
9-7-1-13	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	傷病名欄の チェック	転帰区分のチェックができること。
9-7-1-14	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	傷病名欄の チェック	主傷病の存在チェックができること。また、チェック機能を有効/無効に設定ができること。
9-7-1-15	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	期限切れコード、入院・外来専用コード、病院・診療所コード、医科・歯科専用コード等のチェックができること。
9-7-1-16	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	初診料と診療年月、診療開始日、転帰 (治ゆ) の整合性チェックができること。
9-7-1-17	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	初診料と休日加算および休日加算の算定日 (暦の休日) のチェックができること。
9-7-1-18	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	初診回数、再診回数と診療実日数の整合性チェックができること。
9-7-1-19	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	暦日を超過する診療実日数のチェックができること。
9-7-1-20	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	入院基本料と特定入院料の合計回数と診療実日数とのチェックができること。
9-7-1-21	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	各種診療行為に対する注加算、年齢加算、時間外加算等の妥当性のチェックができること。
9-7-1-22	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	摘要欄の チェック	診療識別に従った点数計算のチェックができること。
9-7-1-23	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	合計欄の チェック	合計点数 (請求) と縦計 (再計算) との間に差異が生じた場合は縦計を表示できること。
9-7-1-24	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医薬品と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-25	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	基本診療料と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-26	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医学管理等と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-27	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	在宅医療と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-28	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	検査と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-29	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	投薬と疾患の適応性チェックができること。

9-7-1-30	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	注射と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-31	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	リハビリと疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-32	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	処置と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-33	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	手術と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-34	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	麻酔と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-35	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	歯冠修復および欠損補綴と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-36	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	歯科矯正と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-37	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	画像と疾患の適応性チェックができること。
9-7-1-38	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	上記は チェック機能を入院/外来別に有効/無効の設定ができること。
9-7-1-39	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	傷病名の廃止日と診療月とのチェックができること。
9-7-1-40	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	医薬品の廃止日と診療月とのチェックができること。
9-7-1-41	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	診療行為の廃止日と診療月とのチェックができること。
9-7-1-42	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	診療行為の入外適応（入院専用と外来専用の診療行為の背反記録）のチェックが できること。
9-7-1-43	レセプト チェック機能	歯科レセプト のチェック	疾患の適応性 チェック	病名漏れ(不適応の場合、当該病名なしと見なす)の場合、警告ができること。
9-8-1-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能 (歯科)	フォーマット チェック結果 帳票	フォーマットチェックで警告となったデータを読み込結果リストとして出力が できること。
9-8-2-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能 (歯科)	レセプト チェック結果 帳票	算定チェック・疾患チェックで警告となったデータを一覧表形式と患者別レセプト イメージの2種類の形式で出力ができること。尚、以下の機能も有していること。
9-8-2-2	レセプト チェック機能	帳票出力機能 (歯科)	レセプト チェック結果 帳票出力条件 指定	入院と外来、社保と国保 等を条件とした区分出力ができること。
9-8-2-3	レセプト チェック機能	帳票出力機能 (歯科)	レセプト チェック結果 帳票出力条件 指定	患者番号や医師コード 等を選択条件とした特定データでの再出力ができること。
9-8-3-1	レセプト チェック機能	帳票出力機能 (歯科)	ワープロ病名 の識別	ワープロ病名の場合は、ワープロ病名を識別する為に病名頭に*を付与できる こと。
9-9-1-1	レセプト チェック機能	統計機能(歯 科)	レセプト チェック結果 の出力	レセプトチェックの結果である点検リストのデータをCSVファイルに変換して出力 ができること。
9-9-2-1	レセプト チェック機能	統計機能(歯 科)	疾患警告の集 計	疾患チェックで警告を発した診療行為や医薬品のデータを一覧表形式での印刷や CSVファイルとして出力ができること。
10-1-1-1	調定機能	利用者権限		利用者毎にパスワード設定ができること。また利用者ごとに使用可能な業務の設 定ができること。
10-1-2-1	調定機能	収納情報管理		医事システムにて発生する請求書情報とリアルタイムで連携できること。
10-1-2-2	調定機能	収納情報管理		保険適用/保険適用外/自費明細などの請求書情報の詳細が確認できること。
10-1-2-3	調定機能	収納情報管理		請求期間を指定して、請求書の一覧表の表示と印刷ができること。
10-1-3-1	調定機能	入金情報管理		医事システムまたは入金機などで発生する入金情報とリアルタイムで連携できる こと。
10-1-3-2	調定機能	入金情報管理		医事システムにて発生する請求書情報に対し、請求書明細毎の入金額情報が確認 できること。
10-1-3-3	調定機能	入金情報管理		入金日、入金時間、入金種別（現金、預金、クレジットなど）、金額の履歴確認 ができること。
10-1-3-4	調定機能	入金情報管理		入金履歴については、請求書毎に無限に保存ができ、参照できること。
10-1-3-5	調定機能	入金情報管理		入金期間を指定して、入金種別（現金、預金、クレジットなど）毎の入金の一覧 表の表示と印刷ができること。
10-1-4-1	調定機能	未収金情報管 理		状態毎に請求書の確認ができること。
10-1-4-2	調定機能	未収金情報管 理		患者本人情報として、氏名、カナ氏名、住所、性別、生年月日、電話番号は、医 事システムから連携されること。
10-1-4-3	調定機能	未収金情報管 理		債務者情報として、患者本人情報以外に、最大3つ登録ができ、参照できること。
10-1-4-4	調定機能	未収金情報管 理		コメント情報を患者毎、請求書毎に登録ができ参照できること。
10-1-4-5	調定機能	未収金情報管 理		滞納者の種別の登録ができ、参照ができること。
10-1-4-6	調定機能	未収金情報管 理		基準日に遡って時点未収の確認ができること。
10-1-4-7	調定機能	未収金情報管 理		請求書の期間と基準日を指定して、未収の一覧表の表示と印刷ができること。
10-1-4-8	調定機能	未収金情報管 理		入金種別（現金、預金、クレジットなど）毎の日計表や月計表の表示と印刷がで きること。
10-1-4-9	調定機能	未収金情報管 理		未収金台帳の表示と印刷ができること。
10-1-5-1	調定機能	督促管理		督促対象者の一覧表の表示と印刷ができること。

10-1-5-2	調定機能	督促管理	患者単位で督促内容（お知らせ、督促、催告など）を選択できること。
10-1-5-3	調定機能	督促管理	督促文面は、マスタにより自由に設定できること。
10-1-5-4	調定機能	督促管理	患者本人の他、保証人や保護者情報の登録ができ、督促状の発行先を変更できること。
10-1-5-5	調定機能	督促管理	督促状は、期間指定により一括で発行できること。
10-1-5-6	調定機能	督促管理	督促状は、一括の他、患者を指定して発行することができること。
10-1-5-7	調定機能	督促管理	督促状は、未収金額の範囲を指定して発行することができること。
10-1-5-8	調定機能	督促管理	督促状は、請求書に登録された未収理由により、督促金額に含めるか除外するかを設定することができること。
10-1-5-9	調定機能	督促管理	督促状の発行履歴が保存され、参照できること。
10-1-6-1	調定機能	標準帳票	標準帳票として以下の帳票を出力すること。
10-1-6-2	調定機能	標準帳票	収入金調定および入金内訳日計表日毎の患者請求情報を科目単位に仕訳し、出力すること。
10-1-6-3	調定機能	標準帳票	収入金調定および入金内訳月計表日毎・月毎の患者請求情報を科目単位に仕訳し、出力すること。
10-1-6-4	調定機能	標準帳票	入金一覧表日毎の患者入金情報を一覧表にて出力することができること。
10-1-6-5	調定機能	標準帳票	調定一覧表日毎に発生する債権情報（調定情報）を一覧表にて出力することができること。
10-1-6-6	調定機能	標準帳票	未納通知、督促状、催告状個人未収入金情報と、患者の住所等の情報により、督促状等が発行でき、発行の際は発行履歴を登録し管理することができること。
10-1-6-7	調定機能	標準帳票	診療費の未納のお知らせ督促状の内訳として、請求書単位の未収一覧を出力することができること。
10-1-6-8	調定機能	標準帳票	督促状発行対象者チェックリスト患者毎の、現在の未収金の一覧と督促の設定、個人情報に記載された一覧を出力することができること。
10-1-6-9	調定機能	標準帳票	書損一覧表日付指定により、指定日に書損となった請求書の一覧が出力できること。
10-1-6-10	調定機能	標準帳票	未収一覧表日毎の患者未収入金情報を一覧表にて出力することができ、かつ過去の日付を指定するとその時点の未収入金を一覧表にて出力することができること。また、複数の未収理由を指定して、出力対象を限定できること。
10-1-6-11	調定機能	標準帳票	領収証明書日付指定により、請求書ごと、または、月毎の領収証明書を発行できること。
11-2-1-1	未収金管理	督促患者条件設定機能	督促の対象、対象外を登録でき、対象外の場合理由を登録可能であること。
11-2-1-2	未収金管理	督促患者条件設定機能	督促状の文書パターンを9パターン以上登録可能であること。
11-2-1-3	未収金管理	督促患者条件設定機能	分割払の文書パターンを9パターン以上登録可能であること。
11-2-1-4	未収金管理	督促患者条件設定機能	患者付箋として、予めマスタ設定した項目を5項目以上登録可能であること。
11-2-1-5	未収金管理	督促患者条件設定機能	患者毎の督促条件を登録すると、対応履歴情報として一覧画面で登録内容を確認することができること。
11-2-1-6	未収金管理	督促患者条件設定機能	患者毎に設定した督促条件の一覧出力が可能であること。また一覧についてはCSVで出力が可能であること。
11-3-1-1	未収金管理	証書受理情報登録機能	対象期間、債務者、連帯保証人、続柄、氏名、電話番号、連絡先住所が登録可能であること。
11-3-1-2	未収金管理	証書受理情報登録機能	督促状の送付先住所として患者住所、保証人住所の選択が行えること。
11-4-1-1	未収金管理	分割支払ルール登録機能	文書送付履歴の表示が可能であること。
11-5-1-1	未収金管理	対応履歴登録機能	督促対応履歴の登録、変更、削除可能であること。
11-5-1-2	未収金管理	対応履歴登録機能	督促対応履歴には以下の情報が入力可能であること。対応日、対応方法、対応内容、支払方法、入金予定日、次回対応区分、次回対応日、対応内容詳細。
11-5-1-3	未収金管理	対応履歴登録機能	督促対応履歴を登録すると、対応履歴情報として一覧画面で登録内容を確認することができること。
11-5-1-4	未収金管理	対応履歴登録機能	督促対応履歴を登録した患者の一覧出力が可能であること。また一覧についてはCSVで出力が可能であること。
11-7-1-1	未収金管理	帳票発行機能	未収請求データを選択し、請求書、払込票、督促状、債務証書を発行可能であること。
11-7-1-2	未収金管理	帳票発行機能	未収請求データの選択は個別選択が可能であること。
11-7-1-3	未収金管理	帳票発行機能	督促状を発行すると、対応履歴情報として一覧画面で登録内容を確認することができること。
11-8-1-1	未収金管理	督促患者ID検索機能	督促患者検索では以下の条件で検索ができること。・発行日、払込票納付期限の期間指定・入院、外来、入外・指定の未収金額合計以上・未収対応有無（対応なし、対応あり、すべて）
11-8-1-2	未収金管理	督促患者ID検索機能	督促患者検索では検索結果に以下の表示が可能であること。・患者番号、カナ氏名、性別、年齢、電話番号・未収額合計、未収件数、・最終入金日、対応日、対応内容
11-8-1-3	未収金管理	督促患者ID検索機能	対応内容の一連登録機能督促患者検索後、患者を選択し対応内容の登録行なうことができ、督促患者検索に戻るような一連登録が可能であること。
11-8-1-4	未収金管理	督促患者ID検索機能	督促患者検索後、患者を選択し、未収金管理画面の表示が可能であること。
11-8-1-5	未収金管理	督促患者ID検索機能	督促患者検索の一覧をCSV形式でファイル作成可能であること。
11-9-1-1	未収金管理	レイアウト編集	督促状、添付文書については容易にレイアウト編集が可能であること。
11-10-1-1	未収金管理	バッチ帳票出力機能	全督促状対象患者を抽出し、督促状（文書パターンに応じ）、払込票の印刷が可能であること。再印刷も行えること。抽出条件は抽出期間、未収金下限値を指定でき、発行日、送付日、支払期限日を指定し出力可能であること。
11-10-1-2	未収金管理	バッチ帳票出力機能	未収情報一覧をCSV形式でファイル出力可能であること。
12-1	自動精算機	通信及び接続	通信及び接続の条件に関し、以下の要件を満たすこと

12-1-1	自動精算機	通信及び接続	医事会計システムと自動精算機システムをLAN接続（TCP/IPソケットインターフェース）で接続でき、接続仕様は医事会計システムが提示する仕様書に準拠すること
12-1-2	自動精算機	通信及び接続	自動精算機本体に、診察券（磁気カード・JISⅡ型）の挿入、患者IDバーコードの読取、かつ、患者IDのテンキー入力により、自動精算機の画面に当該患者の請求金額を表示できること
12-1-3	自動精算機	通信及び接続	収納を制限する情報を医事会計システムより受け取り、その旨の内容を表示できること。また、病院指定金額以上の請求金額が発生した場合、自動精算機側にて収納を制限できること
12-1-4	自動精算機	通信及び接続	自動精算機に診療料金が入金されることにより、医事会計システムの未収情報が入金済み状態になり、領収証に印字される内容が送信できること
12-2	自動精算機	自動精算機本体	自動精算機本体に関し、以下の要件を満たすこと
12-2-1	自動精算機	自動精算機本体	偽造紙幣や偽造硬貨の収納を防止できること
12-2-2	自動精算機	自動精算機本体	患者ID入りの磁気ストライプカードの読取ができるカードリーダを搭載していること
12-2-3	自動精算機	自動精算機本体	患者IDのバーコード（QRコードの読取も可能であること）が読取れるバーコードリーダを搭載していること
12-2-4	自動精算機	自動精算機本体	バーコードリーダは読取用紙を表向きで利用できレーザー光が直接目に触れないこと
12-2-5	自動精算機	自動精算機本体	操作補助用として本体に手すりがあること
12-2-6	自動精算機	自動精算機本体	操作を促す人感センサーを内蔵していること
12-2-7	自動精算機	自動精算機本体	防犯ブザーが搭載してあること
12-2-8	自動精算機	自動精算機本体	音声での操作ガイダンス機能があること
12-2-9	自動精算機	自動精算機本体	LED（青）操作誘導ランプやスポットライト（白）を有していること
12-2-10	自動精算機	自動精算機本体	傘・杖立て機能付きの専用荷物置き台を有していること
12-2-11	自動精算機	自動精算機本体	入金確定方法として、以下のどちらでも選択でき、運用後の変更が可能なこと
12-2-11-1	自動精算機	自動精算機本体	確認ボタン対応：入金額及び釣銭額を目視確認しながら都度入金でき、「確認ボタン」を押すことで入金確定
12-2-11-2	自動精算機	自動精算機本体	オートスタート対応：入金額が請求額以上になると、自動的に入金確定
12-2-12	自動精算機	自動精算機本体	自動精算機本体の保守は、前面扉対応であること
12-2-13	自動精算機	自動精算機本体	大型専用名称パネルが搭載されていること。
12-2-14	自動精算機	自動精算機本体	堅牢性は、日本自動販売機工業会が定めるレベル2に準拠した強度であること
12-2-15	自動精算機	自動精算機本体	本体電源の自動ON/OFF機能を有しており、タイマースケジュール設定ができること
12-2-16	自動精算機	自動精算機本体	無停電電源装置を内蔵していること
12-2-17	自動精算機	自動精算機本体	サーマルプリンタが2台同時に搭載でき、領収書と診療明細書の2枚同時発行対応ができること
12-2-18	自動精算機	自動精算機本体	操作画面が左右から見えないように、サイドパーテーションがあること
12-2-19	自動精算機	自動精算機本体	遠方からの稼働状況認識が可能なLED付サイドパーテーションであること
12-2-20	自動精算機	自動精算機本体	硬貨取り忘れ防止機能として、硬貨出金口がシャッターにて開閉できること。
12-2-21	自動精算機	自動精算機本体	紙幣取り忘れ防止機能として、紙幣入出金口がシャッターにて開閉できること。
12-2-22	自動精算機	自動精算機本体	カード（診察券、クレジット・キャッシュカード）挿入口には硬貨等の異物混入防止の為、シャッターが搭載されていること
12-2-23	自動精算機	自動精算機本体	カード（診察券、クレジット・キャッシュカード）の取り忘れ防止策としてカード取り込み機能があること また、その際は休止することなく次の取引が行えること
12-2-24	自動精算機	自動精算機本体	画面はタッチパネル方式で、21.5インチ以上の液晶カラーディスプレイであること
12-2-25	自動精算機	自動精算機本体	左右側面30度以上の角度からは画面が見えないプライバシー対応モニターであること
12-3	自動精算機	金銭処理機能	金銭処理機能に関し、以下の要件を満たすこと
12-3-1	自動精算機	金銭処理機能	入金処理は、以下の金種以上の取り扱いができること
12-3-1-1	自動精算機	金銭処理機能	・紙幣 全金種（一万円、五千元、二千元、一千元）
12-3-1-2	自動精算機	金銭処理機能	・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）
12-3-2	自動精算機	金銭処理機能	入金方法は、紙幣200枚以上、硬貨50枚以上の一括混在投入ができること
12-3-3	自動精算機	金銭処理機能	出金処理は、以下の金種以上の取り扱いができること
12-3-3-1	自動精算機	金銭処理機能	・紙幣 全3金種（一万円、五千元、千円）
12-3-3-2	自動精算機	金銭処理機能	・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）
12-3-4	自動精算機	金銭処理機能	出金方法は、紙幣200枚以上、硬貨50枚以上（混合一括出金）ができること
12-3-5	自動精算機	金銭処理機能	硬貨収納枚数は、五百円300枚、百円500枚、五十円500枚、十円500枚、五円500枚、一円500枚以上であること
12-3-6	自動精算機	金銭処理機能	紙幣収納枚数は、一万円札2,000枚、五千元札2,000枚、千円札2,000枚、二千元札800枚以上であること
12-3-7	自動精算機	金銭処理機能	硬貨は、回収ボックスがあること。

12-3-8	自動精算機	金銭処理機能		紙幣・硬貨共に金銭が外部の目に触れることなくカギ付きの金庫装填ができること
12-3-9	自動精算機	金銭処理機能		金銭回収方法として、病院で任意に全額回収/売上金回収の選択ができること
12-4	自動精算機	カード対応機能		カード対応機能に関し、以下の要件を満たすこと
12-4-1	自動精算機	カード対応機能		クレジットカード支払いの対応ができること
12-4-2	自動精算機	カード対応機能		クレジットカード決済時、カード情報の非保持化又はPCIDSSに準拠していること
12-4-3	自動精算機	カード対応機能		クレジットカードのICチップを読取ることによる決済が可能なこと
12-4-4	自動精算機	カード対応機能		クレジットカード決済は以下の方式より選択可能なこと
12-4-4-1	自動精算機	カード対応機能		オートローディング方式
12-4-4-1-1	自動精算機	カード対応機能		EMV認証を取得したICカード対応端末、PCI-PTS認証を取得したPINPADを搭載していること。一般社団法人日本クレジット協会が公布している『オートローディング自動精算機のIC対応指針と診療費支払機の本人確認方法について』の代替対策案を基に、ICクレジットカード対応化におけるセキュリティ対策がなされていること。日本クレジット協会が公布している『対面加盟店における非保持化と同等/相当のセキュリティ確保を可能とする措置に関する具体的な技術要件について』の端末に対するセキュリティ対策がなされていること。
12-4-4-2-1	自動精算機	カード対応機能		専用決済端末方式
12-4-4-2-2	自動精算機	カード対応機能		一般社団法人日本クレジット協会が公布している「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画 - 2019 - 」が定める、外回り（精算機自体では「カード情報」を電磁的情報として『保存』、『処理』、『通過』させない仕組み）また、ICカード決済（EMV）が可能でEMVブランド認定を取得している決済端末であること
12-4-5	自動精算機	カード対応機能		J-Debitカード払いの対応ができること
12-4-6	自動精算機	カード対応機能		クレジットカード、J-Debitカード払い時の入金区分情報を医事会計システムに送信できること
12-4-7	自動精算機	カード対応機能		支払い方法の選択操作はカード払い時のみ発生すること（現金払いの場合は特別な操作が無いこと）
12-4-8	自動精算機	カード対応機能		クレジットカード払いの時、利用者が任意に1回払い/分割払い/リボ払いの選択ができること
12-4-9	自動精算機	カード対応機能		クレジットカードで1回払いの時、利用者が1回払いを画面で選択しない運用が可能なこと
12-4-10	自動精算機	カード対応機能		現金を扱わないカード専用機として利用でき、病院が任意に切替操作できること
12-4-11	自動精算機	カード対応機能		精算機本体が複数台の場合でも、インターネット回線は1本で対応できること
12-4-12	自動精算機	カード対応機能		カード利用明細書は、領収書用紙に含めての印字もしくは、専用プリンタでの印字から選択可能なこと
12-4-13	自動精算機	カード対応機能		クレジットカード決済の取消が可能なこと。
12-5	自動精算機	画面表示機能		画面表示機能に関し、以下の要件を満たすこと
12-5-1	自動精算機	画面表示機能		患者ID、患者氏名、入院・外来区分、受診年月日、診療科名、請求額（受診日、受診科毎）、請求額合計、投入額、釣銭額が画面に表示できること
12-5-2	自動精算機	画面表示機能		外字が含まれた患者氏名の表示ができ、未登録外字の場合はカナ氏名に自動変換できること
12-5-3	自動精算機	画面表示機能		請求項目の表示有無を、利用者が任意で切替が可能なこと
12-6	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		領収書及び診療明細書印刷機能に関し、以下の要件を満たすこと
12-6-1	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		病院指定の領収項目/レイアウトに対応でき、印刷ができること
12-6-2	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		紙以外の消耗品が発生しないサーマルプリンターが利用できること
12-6-3	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		1回の補充作業で、領収書及び診療明細書が各2,100枚以上発行できること
12-6-4	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		ミシン目入りの領収書用紙が使用できること
12-6-5	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		文字種当社指定フォントにてはANK、漢字JIS第1第2第3第4水準を網羅すること
12-6-6	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		外字が含まれた患者氏名の印字ができ、未登録外字の場合はカナ氏名に自動変換できること
12-6-7	自動精算機	領収書及び診療明細書印刷機能		領収書再発行機能を有すること。
12-7	自動精算機	精算機稼働管理PC		精算機稼働管理PCに関し、以下の要件を満たすこと
12-7-1	自動精算機	精算機稼働管理PC		以下の遠隔指示機能を有すること

12-7-1-1	自動精算機	精算機稼働管理PC		電源のON、OFFの指示
12-7-1-2	自動精算機	精算機稼働管理PC		現金専用対応/現金・カード併用対応/カード専用対応への切換
12-7-1-3	自動精算機	精算機稼働管理PC		紙幣・硬貨の回収金庫への回収指示
12-7-2	自動精算機	精算機稼働管理PC		釣銭切れや領収書用紙切れの事前警告機能により、機器停止を未然に防ぐ機能があること
12-7-3	自動精算機	精算機稼働管理PC		金銭補充、抜取等の操作履歴管理ができること
12-7-4	自動精算機	精算機稼働管理PC		以下の帳票出力機能を有すること また、GSV形式でファイル保存できること
12-7-4-1	自動精算機	精算機稼働管理PC		日計表（号機毎、合計/初期設定額、補充金額、取引金額、現金有高が金種別集計されたもの）
12-7-4-2	自動精算機	精算機稼働管理PC		処理単位、領収書単位の利用明細表（号機毎、合計/患者ID、取引時間、入出金額が印字されたもの）
12-7-4-3	自動精算機	精算機稼働管理PC		入院・外来別売上表（号機毎、合計）
12-8	自動精算機	拡張性		拡張性に関し、以下の要件を満たすこと
12-8-1	自動精算機	拡張性		交通系ICカード決済に対応できること（クレジットカード決済と併用できること）
12-8-2	自動精算機	拡張性		ユニットを筐体外に設置し駐車場利用券の処理に対応できること（割引処理など）
12-8-2-1	自動精算機	拡張性		領収書、診療明細書発行以外の機能として、80mm（±5mm）幅のサーマルプリンタを搭載し以下の用紙の出力が可能なこと。
12-8-2-2	自動精算機	拡張性		クレジットカード利用明細書の発行
12-8-2-3	自動精算機	拡張性		お薬引換券の発行
12-9	自動精算機	拡張性		「装填前在高」「装填した金額」「装填後在高」の発行
12-9-1	自動精算機	性能及び機能以外		性能及び機能以外の要件
12-9-2	自動精算機	性能及び機能以外		障害があった場合、迅速に保守する体制が整っていること
12-9-3	自動精算機	性能及び機能以外		障害があった場合、24時間365日体制のコールセンターを保持していること
12-9-4	自動精算機	性能及び機能以外		障害があった場合の連絡窓口は1箇所であること
12-9-5	自動精算機	性能及び機能以外		設置場所は病院の指定場所とすること
12-9-6	自動精算機	性能及び機能以外		電源はAC100Vで使用でき、消費電力も最大（ピーク時）で530W以内であること
12-9-7	自動精算機	性能及び機能以外		システム導入後、取り扱い方法について教育訓練を行うこと
12-9-8	自動精算機	性能及び機能以外		保守は導入後、1年間を無償保守期間とし、7年間は修理対応保証すること（既存機器は除く）
12-9-9	自動精算機	性能及び機能以外		無償保守期間終了後の保守対応は、別途契約とすること